

2021年11月1日



月刊

もぐら通信

2024年11月1日 第148号 第3版 <http://abekobosplace.blogspot.jp>

もぐら通信を自由にあなたの《友達》に配付して下さい

あなたへ:
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地が届きます

電話

042-ABE-KOBO

FAX

042-KOBO-ABE



Alice 2

Alice in Wonderland by S.. Dali



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（32）：孤独より 其の五：安部公房.....page 2 5
- 4 『都市への回路』論（3）：岩田英哉.....page 2 6
- 5 新発見のカフカ描画集の発刊：岩田英哉.....page 3 8
- 6 『文章読本』論（10）：井上ひさし：岩田英哉.....page 4 8
- 7 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論：岩田英哉.....page 5 1
- 8 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/ 1. 1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 9 ネット・モナド論（23）：7.4.6 催眠術とプロパガンダ：岩田英哉...page 3 3
- 10 私の本棚（39）：井尻千夫著『消費文化の幻想』を読む：岩田英哉...page
- 11 サンチョ・パンさを求めて（19）：禪のすすめ：岩田英哉...page 5 9
- 12 *Mole Hole Letter*（70）：超越論II（第十四回）：岩田英哉...page 6 2
- 13 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（28）：5.19クラとは何か（2）か：岩田英哉...page 6 8
- 14 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 15 編集後記...page 7 2
- 16 編集方針.....page 7 3



The best tweets of the month



しゅうた@shuta_1025・Nov 16
安部公房とは仲良くなれない。



ヤマニシ@bkbkbook29・Nov 13
「あ」と打つと予測変換に付き合ってる人の名前と安部公房が出てくる。生活の二本柱。

Mune@StraightEdgeQ・Nov 14
勉強するフリして安部公房と井上靖をなぜか読んでいた

しほろぐHot beverage@shihologram・Nov 16
安部公房の作品を手取るきっかけを与えてくれたフォロワーに感謝の花束を贈りたい

Mune@StraightEdgeQ・Nov 14
「都会的」っていうと真っ先に安部公房が浮かんでしまう。あらゆる自明性から砂のようにこぼれ落ちる「この私」というか。

おうよそ@channel_box05・Nov 14
でえがくに安部公房全集あるってえ聞いたんだけどお……なかったぞ?!

今月の池田龍雄

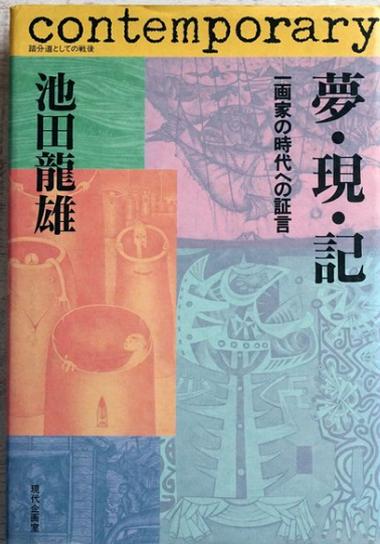
タイムカプセル@timecapsule_art・Nov 13
池田龍雄 夢・現・記 一画家の時代への証言
¥2,800 税込

戦後の日本文化の早晩期から生きた画家の半生記。芸術の前衛の一典型を示した池田龍雄の日記をベースに、詳細な注と年譜で戦後美術の状況を再構成する。

<https://capsule.base.ec/items/39906569>

#池田龍雄 #前衛 #河原温 #安部公房
#赤瀬川原平





今月の蛇

おりたあきは@akiori1011・Nov 13

私は魚が大変苦手で、なぜ苦手なのかを突き詰めて考えたことがあるのですが、それはあの形状であろうという結論に至ったのですが、その時ものすごく思い出したのが安部公房の蛇についてのエッセイだったなあ。なぜ人は蛇に嫌悪を抱くのか。久々に読んでみたいな。

DJあかい@DJakai2・Nov 14

安部公房「せやろか？」

Quote Tweet

pさん@p_san0320

今月のグレン・グールド

ポテ志（遺伝子組換えでない

@potashi_chikash・Nov 13

「グレン・グールドは語る」という本の中で安部公房の「砂の女」について語っているインタビューがありましたね。たしか書籍ではなく映画の方についての話でした。

Quote Tweet

クラシック音楽 bot@musique_bot・Nov 13

【グレン・グールド】愛読書のうちの一つに、夏目漱石著「草枕」があった。35歳の時に、カナダを走る列車の中でウィリアム・フォーリー氏というザビエル大学教授に出会

爬虫類コーナーをご覧の 大人の方へ

ヘビに対して「気持ち悪い生き物」という印象をお持ちの方は多くいらっしゃいますが、ヘビは美しく、凛々さが溢れている生き物です。お子様(特に未就学の幼児期)は、保護者の方が「気持ち悪い」と言うと、その価値観をずっと植え付けられてしまうことがあります。お子様はヘビを見て「カッコいい」や「カワイイ」と思っているかもしれませんが、人それぞれの好みはありますが、生き物が持つ力強さを感じたうえで、お子様自身から出てくる感情を大切にしてください。



い、彼にこの本を紹介されたことから傾倒したのだそう。以降グールドは夏目漱石の本を読み漁り、安部公房の本も好んだ。

ZYL@Walavie·Nov 12

Replying to @siontak@TeimurazLezhava

and @Georgian_GTK

安部公房『砂の女』も見つけました

欧米やロシアの作家の名前も含まれてましたので、芥川も近代の代表的な作家として認識されているのですね



今月のカンガルー・ノート

北原@akh_1997·Nov 14

安部公房のカンガルーノートが好きすぎて勝手に漫画描きたい、

 @i_haruki·Nov 15

安部公房『カンガルー・ノート』を読み終えた。面白かったけれど、全体的によく分らなかった。数年後に再読が必要かもしれない。

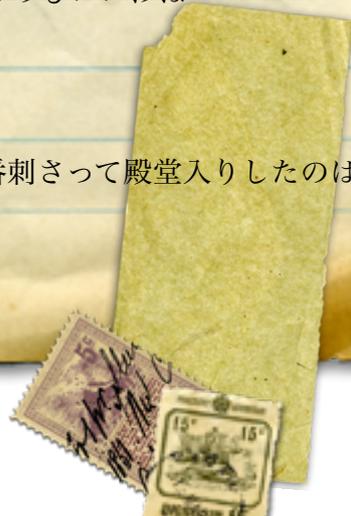
よいだ@Yoida_3·Nov 12

インディゴに出てきたから安部公房のカンガルー・ノート読んだんだけど、よかった…作中にピンク・フロイドのSings of LifeとEchoesが出てくるのもいいわね…

今月の公然の秘密

ふじひず@nanmoshirankedo·Nov 13

小説で一番好きなのは安部公房の公然の秘密ですが近年一番刺さって殿堂入りしたのは東野圭吾の殺人の門です よろしくお願ひします



今月のゴミ

白ちゃん:Japanese symbol for beginnerベテランも心に青葉のマークつけ初心に戻って安全運転(交通標語)・Nov 12

【養老孟司 × 安部公房】社会における2つのゴミについて、養老先生と安部先生が対談します。 https://youtu.be/Nz631e2_4tk

@YouTubeより

今月のスターリン

古義人@cogito_kobo・Nov 14

絢は一瞥をくれるだけだったが、安部公房におけるスターリン批判、ハンガリー事件以前以後の切断を強調させれば、68年論の文脈で再浮上させることは可能。(ただしファシズム、というか党への意識が安部に欠如していたので、そこに限界があるという点には同意。)

今月の箱男

Sakura@63fgmGhmBu1q7OJ・Nov 18

箱男

安部公房

#読了

一応読了したが、内容を理解できたかといえば、2割以下かもしれない…。

元カメラマンが箱に入って覗き窓作って浮浪者のように生活をする。わざわざ生活を捨ててまで。箱男は自由に世界を覗くことができる。

終始幻と現を行ったり来たりするわ、何が真実で嘘か。あとエロスすごい

Sakura@63fgmGhmBu1q7OJ・Nov 18

お次はこの本にしてみます。

タイトルからしてクレイジー！

ちょっと読んでみたけど、箱の中が意外と機能的で笑う！

さて、どんなことになるやら…

安部公房、初読。ごくり。

ステージナタリー@stage_natalie・Nov 18

田中遊、「戯式」で安部公房「箱男」モチーフにした作品を“段ボール箱に入り”披露

<https://natalie.mu/stage/news/453994>



島根の米農家@shimanenokome・Nov 13

基本的に匿名性に守られて生きていたい人もいると思うんですね。安部公房の箱男みたいな。でも、対面で向き合う寿司屋みたいな所は店主「こいつ誰だよ」と思われていると居心地悪いから、認知はされてるけど関与されないのがベスト。

Quote Tweet

イナダシュンスケ@inadashunsuke・Nov 12

店による、の場合

- ・一万円の寿司屋 嬉しい
- ・5000円のバル 嬉しい
- ・1500円のカフェ なんともしらない
- ・790円の家系ラーメン 嫌だ
- ・300円の団子屋 嬉しい
- ・近所のコンビニ 嫌だ

みたいな残酷なグラデーションはありそう

古典bot ~140字で読む文学・哲学~@classicalL_P・Nov 18

箱男(安部公房・日)

特に女を覗き見ると性器が勃つけど、それこそ正常の証？

いや、世界は元々奇妙なものだったが。

箱を体に被り、穴から覗いてみた。

むしろ正常に見える様になったのかもしれない。

すると世界が奇妙に映った。

そして覗き見る世界こそ閉鎖的な空間？

だから箱中こそ



SPM@Super_Pack_M・Nov 16

安部公房の「箱男」を思い出す。



外部



内部

のびゆく 鈴鹿市@Suzuka_Mie_JP・Nov 18

【三重県】田中遊、「戯式」で安部公房「箱男」モチーフにした作品を“段ボール箱に入り”披露 - ナタリー <http://dlvr.it/SCkJ6L> | #三重県

SPM@Super_Pack_M・Nov 16

安部公房の「箱男」を思い出す。

Quote Tweet

Dr.Emtan ➡ 11/28ダ4 @mtan78・Nov 14

ポスターや絵の人物と目線が合うように見える原理と同じと思ってる方が結構いるようですが、違う原理なんですよ Smiling face with open mouth 眼球を凹ませてるのです。 twitter.com/mtan78/status/...

司馬@Kuriko0228・Nov 19

安部公房の『壁』読み終わった！このまま『箱男』を読む。箱男ってタイトルが思い出せなくてずっと三角様って言ってた

kokoBlue book@読書垢@bobcatlover1・22h

Replying to @63fgmGhmBu1q7OJ

私はSakuraさんの感想読んで『箱男』がめっちゃくちゃ気になってます Face with tears of joy



なんだか安部公房にまんまとはめられた気分です笑Smiling face with open mouth and cold sweat

蛾兆ボルカ@loveGame7cc・Nov 13

安部公房の「箱男」は完全に孤立した人間を実験的に示すが、そこでは殺害も自死も選ばれないし、反出生主義も選択されない。
しかし、消滅（燃焼）は語られる。

今月の壁あつき部屋

キュンとくるフレーズ@qnphra・Nov 12

監獄という所は、人間から罪を追い出す所じゃない、罪から人間を追い出す所だな。
（「壁あつき部屋」安部公房）

今月の優れた教師

森猫シヲン@仕事中@morinekozion・Nov 15

息子の高校の現代文の先生が「教科書文があまりにつまらないので安部公房の作品を取り上げます」と言い出したらしく、実家に私が集めた新潮文庫の公房作品全巻あるよ、と言ったけど、高1で公房はちょっと難しくないか…？

今月の死に急ぐ鯨たち

uga@kat_uga・Nov 15

新潮文庫さん

どこまでもお願いします。

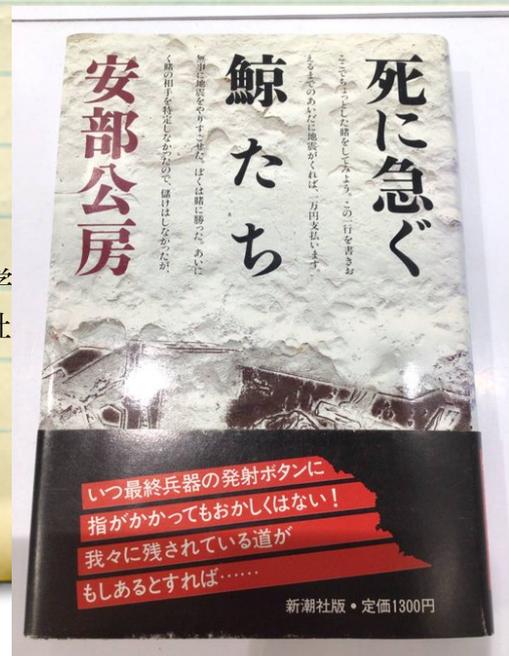
安部公房の「死に急ぐ鯨たち」を再版してください。
ぜったい買いますから。

奈良の古本屋 フジケイ堂 もちいどの店@fujikeido
・Nov 18

「死に急ぐ鯨たち」ヤフオクに出しました(´▽`)

興味のある方、ぜひご覧ください。(*^_^*)

#古本 #古書 #書籍 #本 #送料無料 #安部公房 #文学
#文芸 #エッセイ #純文学 #日本文学 #社会 #新潮社
#対談 #国 #昭和 #ヤフオク #ヤフオク出品中



今月のドストエフスキー

宮@mymymy303・18h

安部公房ってドストエフスキーの影響受けまくってるな～

今月の演劇論

ホッタタカシ@t_hotta・Nov 12

Replying to @strangeorange81

『安部公房スタジオと欧米の実験演劇』はイタリアの「オーディーン劇場」、アメリカの「リビング・シアター」と並べて論じた本でなかなか面白いですよ。しかしなぜこの並びで日本代表が天井桟敷でも状況劇場でもなく「安部公房スタジオ」だったのか……嬉しいけど。

今月の砂の女

まろ@maro_book・Nov 14

明日から本なんか読める状態じゃなくなるとのことで、今日は比較的短いものを。安部公房の「砂の女」にする。

kokoro@kokoro116・Nov 17

罰とは、とりもなおさず、罪のつぐないを認めてやることにほかならない。(安部公房、『砂の女』)

kazz.@48262・Nov 18

モチーフとなったという安部公房、当時読みました。

Quote Tweet

Nav Katze Official (ナーヴ・カッツェ) @nav_katze2021・Nov 18

配信された曲で最古の曲は「入浴」かな。バンド始めて間もない頃に作りました。助っ人も含めてNavのライブで「入浴」を演奏したドラマーは5人います。それぞれ个性的ですが飯村山口のノリは変わらなくて面白い。配信ではオリジナル、ライブ版、ピアノ版の3種聴けます。 <https://open.spotify.com/artist/IiwziQKg4hUeVorWxibG9V?si=sd0DACRPS6yDVDtM8gAlXw...>

とりにくBird@Need_Rabbit・Nov 15

安部公房の本古本で少ないからイライラしてる。



ホッタタカシ@t_hotta·Nov 12

Replying to @strangeorange81

『安部公房スタジオと欧米の実験演劇』はイタリアの「オーディーン劇場」、アメリカの「リビング・シアター」と並べて論じた本でなかなか面白いですよ。しかしなぜこの並びで日本代表が天井桟敷でも状況劇場でもなく「安部公房スタジオ」だったのか……嬉しいけど。

takanori_ogawa_@ogawa_takanori·Nov 12

『砂の女』安部公房著(新潮文庫)。11/12読み終わり。

1ヶ月半かかった。

#安部公房 #砂の女

名言録@meigenroku·Nov 15

労働には、行先の当てなしにでも、なお逃げ去っていく時間を耐えさせる、人間のよりどころのようなものがあるようだ。(安部公房『砂の女』)

@シュガー·13h

マルクスの影響で安部公房の比喩はあんな感じになってるんじゃないか。机が踊り出すとかって表現、安部公房っぽいと言えぽい

いう子@deereereege·Nov 18

砂の女じゃない〜!!とつぶやきながらフローリングに散らばった砂を掃除機で吸い取り続けるひとり安部公房ネタはもう飽きました…

きたはら@2bibliophilism2·Nov 16

やらなきゃいけないことから逃げてる時、ずっと頭に安部公房の『砂の女』の最初と最後の文がこびり付いてる あれ耳が痛くなるよね 読み切ったあともっかい最初のページ戻って呆然としちゃうくらいには好きだった本

水形玲bot@meigetsu_bot·Nov 18

「砂の女」(安部公房)

砂の穴に入ると女がいる。女と結ばれてしまう。

「砂かき」を女や男達と行う。主人公は一度逃げるが、泥沼にはまってしまい、男達に助けられる。

やがて子供ができ、主人公は救われる。(blog)

いしいるか@ishiiruka0421・Nov 17

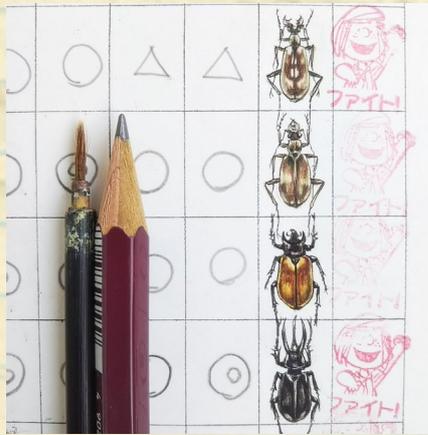
安部公房の『砂の女』を思い出すなあ

Quote Tweet

昆虫と刺繍@noko112511・Nov 16

【ハンミョウ】あまり気にした事のない虫ですが由来を読むと(斑猫…獲物を捕らえるしぐさが猫に似ている)猫！？…何だか急に興味が湧いて来ました。(知らない)って魅力的な事でもあるのね

#クワガタムシ #ハンミョウ



藍崎@a_i_zaki・Nov 18

安部公房の『砂の女』を書店で買おうか迷いに迷ったんですが鞆があまりにも重くてやめた書店に行くときは重い鞆で行かなきゃいけない 買ってしまふ

カミイケ タクヤ@takuya_kamiike・Nov 18

安部公房「砂の女」を思い出した。ふと。

か ◎シ某 (ナニガシ)@Cc5gv1XOW2qGkFV・Nov 11

Replying to @uraniwamoviecom

and @IN105xeVpCtLrZx

安部公房原作、勅使河原宏監督の「砂の女」(1964東宝配給/岸田今日子主演)観ればいんじゃね♥?女が砂に埋もれるシーンはなかった気がするがGrinning face with smiling eyes



今月の電子書籍

Tenty@Tenty17・Nov 16

久しぶりに安部公房を読みたいと思ったが、一切電子書籍化されていないんですね。ワープロをいち早く導入したのに。

今月の椎名林檎

椎名林檎@WffKroF5OqXBa5E・Nov 14

この、、椎名林檎に出てきたもんはな、、
世界一有名なものばかりなんよ、、
そして、、すべてではあった、、
それが証拠に、、ipadを、、最初につくって、、
聖書も、、村上春樹にも、安部公房にも、
であった、、
それが以下に、、非凡であるかは、、
そいつ自身に、聞けば、、わかることだ、、

今月の鞆

篠崎もえ@moe20181219・Nov 15

読書の秋Fallen leafたまに以前読んだ国語の教科書や、模試や過去問でちらっと出てきた話を読みたくなりますClosed book特に模試の文章は抜粋だからか面白い物が多い

Smiling face with smiling eyesSparkles

今は安部公房「鞆」と、作者もタイトルも不明、絶えずCMの流れる騒がしい世の中で一番高いのは静寂(音無し)のレコードだった、という話を読みたいPleading face

篠崎もえ@moe20181219・Nov 15

安部公房は「壁」に収録されている話も好きですSparkles「鞆」含め難解ですがSmiling face with tear

引っ越しのときに実家に置いてきちゃったSplashing sweat symbol手元に本がないときほど読みたくなる不思議Pleading face

アナカシコ@ana_kashic0・Nov 17

Replying to @inuu_to

いやいや私の読書遍歴なんて本当に大したことはなくて…！国語の教科書に安部公房の「鞆」が載っていて、その辺りからハマりました…多分結構王道なんじゃないかなと！絶対とむさんがお好きな作風だと思うので…！先にツイートした本はショートショートの話め合わせなのでさくっと読めると思います！

今月のニーチェ

大江信@oemakotoqq・Nov 12

Replying to @fuyunokuji

わたしにとっての文学の頂点はツァラトウストラで、続くのがカフカ、安部公房、大江健三郎、村上春樹、高橋源一郎等々の代表的作品があります。BFC作品はほぼ掌編（短詩もある）でまたカテゴリが違うというか。読み手としては多忙者の気晴らしプラスα文学かな。真剣な気晴らしですね。深い感動は難しい

畜生過負荷@Non_Da_Clay・Nov 14

ありがとうと言えば心と自然は前に向く。人を見るとき自分も見られている。安部公房の箱男を思い出すね。見ると見られるの関係性。

深淵を覗くとき、深淵もまたこちらを覗いている。ニーチェは深淵、僕はまだあえて覗いていません。怖いんだ。三島由紀夫をあえて成人するまで読まなかったことと同義。

今月のオマージュ

道生@nmrrstd・18h

灰になってよかった、も気になりし 安部公房オマージュなんだっけ…

今月のピンク・フロイド

hiroo@susan8181・Nov 12

FM COCOLOでDJ加美幸伸とゲストのキムラ緑子との話で、安部公房とピンク・フロイドのことが飛び出し驚いた。懐かしい。

今月の小沼丹

チャメ@myung_dt・Nov 13

小沼丹は、私小説を超越して、純粹な文体の印象で作品に揺らぎを与えられる稀有な存在だと思っているんだけど、ちょっと盛り過ぎな評価という感じもしないでもない。でも安部公房と並んで自分の人生に影響を与えてくれたんだよなあ。

今月の反劇的人生

セバス@ihSebas・Nov 11

安部公房／ドナルド・キーン『反劇的人間』を読み終わった。よい表現をしようとするこ
とと正確な描写をしようとすることは軌を一にしている、と安部公房が述べるくだり
がおもしろい。

今月の満州医科大学

栗本柿男@kurikakio・Nov 13

戦前奉天には二つの医大があった。一つは満鉄が作った南満医学堂、後の満州医科大。もう一つは長老教会の伝道医師が作った奉天医科大。前者には安部公房の父浅吉が学んだ。後者でムツゴロウ畑正憲の父敏雄が免許をとった。両者は戦後合併(もう一校加えて)して、中国医科大となる。

今月の他人の顔

れいれい@Rra1Lr・Nov 16

「他人の顔」 安部公房

事故で顔を失った男は仮面を作る事で再起を図る。表情がどれだけ情報伝達力を有し、如何に個人の印象を左右するか。偏執的かつ粘着質な男の心理描写。その孤独と絶望。様々な受け取り方がある、いくらでも深読みできてしまう本。"人間は皆、仮面をつけて生きている" #読了

ベルソさん (装丁と読書と雑談) @versographic・Nov 17

『他人の顔』 安部公房

昔映画で観たのですが、忘れた頃に小説でじっくり味わうのもいいですね。四六判に頁36字×15行(岩田明朝オールド)ですから、今時の実用書並みの字数。余白が多く、本文は意外に平仮名が多用され読みやすい。渋い帯写真は入江美樹で映画から抜粋。読後に再鑑賞しそうな予感。



yotchan@yotchan・Nov 14

「他人の顔」(たにんのかお)は、安部公房の長編小説。「砂の女」の次の長編で、『失踪三部作』の2作目となる。……1966年(昭和41年)7月15日には安部自身の脚本で、勅使河原宏監督により映画化された。」

[https://ja.wikipedia.org/w/index.php?](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E4%BB%96%E4%BA%BA%E3%81%AE%E9%A1%94&oldid=83862877)

[title=%E4%BB%96%E4%BA%BA%E3%81%AE%E9%A1%94&oldid=83862877](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E4%BB%96%E4%BA%BA%E3%81%AE%E9%A1%94&oldid=83862877)… #クラシック音楽館

今月の伊藤計劃

hinata@_uncx・Nov 14

伊藤計劃が安部公房の影響を受けている事は劇場版「虐殺器官」「harmony」「屠者の帝国」を見れば一目瞭然だが、未だに原作を読めてないのが己の現状。読めねばならないが果たしていつになるのやら。計劃もまた「言葉は精神」であり言葉の本質そのものが魂の在りどころであると小説で問いかけた人物。

今月の赤い繭

ひみたい@himitai_nayatsu・Nov 16

作者 安部公房『赤い真佑』昭和25年（1950）



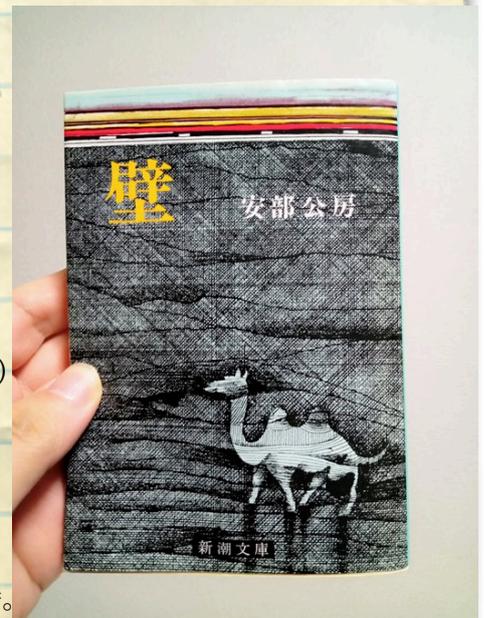
今月の壁

芥川賞全受賞作筋書き@akutagawa_syou・Nov 13

ある朝、突然自分の名前を喪失してしまった男。彼の眼には、現実が奇怪な不条理の塊とうつつ。他人との接触に支障を来たし、人形やラクダに奇妙な愛情を抱く。そして……。独特の寓意とユーモアで、孤独な人間の実存的体験を描き、その底に価値逆転の方向を探った野心作。芥川賞受賞作『壁』安部公房

原 裕樹@Yu_ki_Hara・Nov 11

今週は中学生が職場体験に来ていたのですが、みんなピュアでいい子たちでしたSparkles最終日に「オススメの本はありますか？」と聞かれて、「職場のスタッフとしてその質問に答えることはできないけど、一人の人对人として答えるなら安部公房の『壁』です」と答えたのですが、果たして良かったのか…Thinking face (笑)



発芽する苺@zyobazyoba・Nov 16

壁 / 安部公房

第一部『S・カルマ氏の犯罪』読了。究極の自己との対峙。

名前がなくても自分足り得るのか。荒涼、寂寞と広がる孤独と、対をなす人工物且つ他者からの隔絶を象徴する壁。読み味と展開の面白さが、アリスやディズニーを思わせて嬉しい。メタファーにも富んでる。この後二部三部も読みます





神尾裕太@『世々と海くんの図書館デート』1巻@kamioyou_ta・Nov 14

眠る。ところで、己の混沌の中から次作のネタを集めてシェイクした結果、ある場面を安部公房の『壁』の引用することにした。後はハンナ・アーレントの『人間の条件』の仕事についての引用。t小説に純文学の化物と世界有数の哲学者を引用するなんてどんな風呂敷だよ。更にはある女性歌手の馴れ初めも。

棟方龍禅@SPO005・Nov 17

安部公房 「壁—S・カルマ氏の犯罪」だな。

安部公房は圧倒的に天才だね。

中上健次や村上龍のレベルではない。

ノーベル文学賞をとっても怪訝しくないんだ。

わからんだろう。

全作品を読むがいい。安部公房は天才。

大江健三郎よりも圧倒的に上である。

うら@uraaaaaaaa96・Nov 12

壁に対する認識に対して、安部公房がシュルレアリスムの様式で挑んだ作品であり、

まあ名作なのだけど、読みづらいは読みづらいよね。

ただ、読み取り方は前書で教えてくれてるし、don't think, feelでもない。短い本なので暇なら読んでみる価値はあるかもねと思いつつ、読書嫌いを生み出しかねんなあ

今月の笑う月

ねね@nene_mio_・12h

11/19 安部公房の短編集『笑う月』の1つ目と2つ目を読んだ

今月の安部公房論

宮崎亀雄 創作専用垢@tomtomclub1999・22h

安部公房を読んでいるんだけど、薄いのに中身は濃い。ストーリーはあっさりしているのに濃い。

なぜだろうと思っていたら、詩なんだな。一段落や一節が換喩された詩になっている。なので、一度読んだだけでは理解は難しいが深い。とても読みやすいのに濃い。素早く読ませる清張とは随分と違う。

今月の第四間氷期

夏目葉@バーチャル図書委員Books@yoh_natsume・Nov 15

今日、SFプロトタイピングという言葉を知った。

バラードの『クラッシュ』をヒントに自動車メーカーが新車を開発するとか、安部公房の『第四間氷期』に着想を得た温暖化対策とか、悪夢みたいなビジョンが浮かんだのですが、多分そういうことではないのでしょうか。

トム.D@k27d82575e7mz・Nov 14

安部公房の作品は、「壁」「砂の女」「箱男」の3作を読んでいます。「砂の女」は再読していて、この度、「壁」の再読を始めました。

#読書好き #読書の秋2021

#読書好きと繋がりたい

#読書好きな人と繋がりたい



今月の感想

kurayamadasoga@kurayamadasoga・Nov 14

【他人の顔 (新潮文庫)/安部 公房】を読んだ本に追加 → <https://bookmeter.com/books/538437> #bookmeter

犬犬工作所@dogdogfactory・19h

犬犬工作所: 【読書感想文】安部 公房『砂の女』 <https://dogdogfactory.blogspot.com/2021/11/sunanoonna.html?spref=tw...>

設定としては「砂の底に閉じ込められた」といってシンプルなのに、なんとも奥が深い。ぐいぐい引き込まれて、ずっと息苦しい。自分までもが穴の底に閉じ込められた気分になる。

今月の井川比佐志 追悼

在宅介護サービスのホームインステッド・ジャパン@HomeInsteadJP・Nov 17

#11月17日生まれ 有名人 (60歳以上)

井川比佐志さん (85)

俳優座では田中邦衛さんと同期。62年安部公房原作・脚本「おとし穴」主演で注目され、68年「男はつらいよ」の諏訪博士役で知名度得る。以後、黒澤明、山田洋次監督作品で重用されるなど活きのある名脇役として活躍



今月の石川淳

A_kiriko@Sister_Twelve・Nov 15

安部公房は壁が目茶つまらなくてね、箱男も微妙でこの作家は私には合わないと思いつけていたけど、読めそうだった大江がどうもだめで、逆に安部公房が面白くなってきたのは意外だった。まあこれは石川淳が好きな自分にとっては、この志向は必然だったのかもしれない。

今月の方舟さくら丸

鉄@JI3630・Nov 13

個人的に船乗り小説のランキングつけたら下記になりますかね。

1. 午後の曳航/三島由紀夫
2. 潮騒/三島由紀夫
3. どくとるマンボウ航海記/北杜夫
4. 方舟さくら丸/安部公房
5. 海狼伝/白石一郎

△四位は好き過ぎてランクインしたけど船乗りではありません。

△五位は読み終えてません。

今月の鞆

月夜_PeachSnowflake@NTukiyo・Nov 17

安部公房『鞆』

を高校生だった時したが…みんなもしてるかな？



この話って結構深いよね…
解釈色々

私は結局鞆が無くなることを恐れて鞆にすがって大学に来たけど(´ω´)ｽﾏｱ…

自分で歩かないとだね…とっても怖いけど…
自分で選択していくということはそういう事
怖いけど大切な事

今月のエヴァンゲリオン

META@Akiko_poke・Nov 13

8 1/2

フェデリコ・フェリーニは実は初めて見る
安部公房の『壁』もそうだがこの50-60年代のシュルレアリスムものはエヴァへの影響が
強いと思われる

今月の煙草

本多晃子@NikkoLyricolor・Nov 12

本日、鈴木清順監督、安部公房、デヴィッド・ボウイの過去のインタビュー映像見たけど、
もれなくタバコ吸っておられた。時代だなー。

今月の星新一

Rainbowシン・半可通22Φ5（とちめんぼう）@tochimenbow・2h

中学校の図書館にはには星新一、筒井康隆(先生もよくまあ中学生相手に図書室に入れた
ものである)。高校の図書館では平井和正、安部公房、そして新書を山ほど読んだ。(それ
以外のSFは存在をほとんど知らなかった)

今月の日本共産党

Kentaro_SUZUKI@suzuken2002・Nov 16

Replying to @St8GWBikWwNVhOV

承前《中国革命が成功したあとだったから、毛沢東の戦術を真似たのです。これには、
多くの学生が参加した。もちろん、そんなものが山村の農民に歓迎されるわけがない。
さんざんな目にあっただけです。この運動には、今著名な人たちが学生時代に参加してい
ました。小説家でいえば、安部公房。》

今月の小松左京

田所瑞穂 (たどころ みずほ) @R84NoI0vUCqEOOrj·Nov 14

Replying to @yumemisi_ryu

ぬおおおっ！ 全く同じ気持ちがありましたー！ 私の場合は筒井康隆先生と小松左京先生と安部公房先生なんですよー。「なんでこんな面白い小説を書けるのか？」と中学生の頃からずーっと思っていて、今も思っています。小説は受け継がれ、そこに永遠があると実感しています。

今月の筒井康隆

夏生(なつを)@370nto7326·Nov 13

SFはぁ〜筒井康隆氏の「七瀬シリーズ」ぐらいかなぁ…耐えられたのは安部公房氏の著作は大好きなんだけど、ファンタジーだけどファンタジーじゃなくて…分かれ！！

inutom@inuu_to·Nov 17

Replying to @ana_kashic0

学生時代からー！！筒井康隆はパプリカしか読んだことないのですが安部公房の隣にいるの、確かに…！って頷いています！！安部公房、私は今日初めてちゃんと読んだ新米ですが…かしこさんもお好きだったの嬉しみです…もっと読んでみますっつRice ball

今月の安部公房スタジオ

橙@strangeorange81·Nov 12

Replying to @t_hotta

なにぶん英文なものでパラパラと見るだけでは内容が見て取れませんが、かなりマニアックな出演作まで網羅されてますね〜。安部公房スタジオについては私は詳しくないですが、『安部公房スタジオと欧米の実験演劇』という本が出ているのを以前見つけたので読んでみたいと思っています！

今月のR62号の発明

しとしと雪月花@Petrichor9999·Nov 15

安部公房の『R62号の発明・鉛の卵』(新潮文庫、全12編収録)を読んだ！

突拍子もない設定や描写がたくさんある中で、妙に理性的な文体が面白いKissing face with closed eyes

強引に作品世界を納得させられつつ、突き放されたり取り込まれたりする楽しい読書だったSquinting face with tongue



深夜@tiefe_nacht・Nov 16

愛読書は安部公房の「R62号の発明」とモーパッサンの「脂肪の塊」です(隙自語)

今月の丹生谷貴志

おもむけ@orosi_nimo・Nov 17

阿部和重が後藤明生のやり方を通じてなんとか安部公房以後をやらうとしてたり、円城塔とかがいたりするけど、小説以外、とくに批評の方では安部って無視されまくってるでしょ。無視しない丹生谷貴志はそれだけでも好きだね。

第144号訂正

第144号(第二版)のダウンロードは：<https://docdro.id/OLr8rUU>

P27：上から9行目

訂正前：未知

訂正後：道

P36：第一段落

訂正前：頂点の下にして

訂正後：頂点を下にして

第145号訂正

第二版のダウンロードは：<https://docdro.id/3tOt5K7>

P42：『縄文紀元論』の見出し

訂正前：5.18 紫式部の超越論『源氏物語』

訂正後：5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてあるか

第146号訂正

第146号(第三版)のダウンロードは：<https://docdro.id/a8JRIsU>

P17：

訂正前：山口果林の写真がない。

訂正後：写真を追加

P53：

訂正前：日中の歴史的な戦略

訂正後：米中の歴史的な戦略



もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6。応募名：

- (1) 本名を名乗つてはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7。選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8。作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9。評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の読者としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11。賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(32)

孤独より
其の五

安部公房

其の五

喜びを告げる人は恐ろしい
疲れた瞳と衰へた四肢と
からまつ落葉で傷ついた爪先に
その喜びに相応しい紅をにじませて
悲しむ人を訪れる

悲しみを告げる人は心恠しい
無限の緑がやがて灰色になる事を
晩秋のみぞれを窓越しに
その悲しみに相応しい饒舌でつくろひ乍ら
微笑む人を訪れる

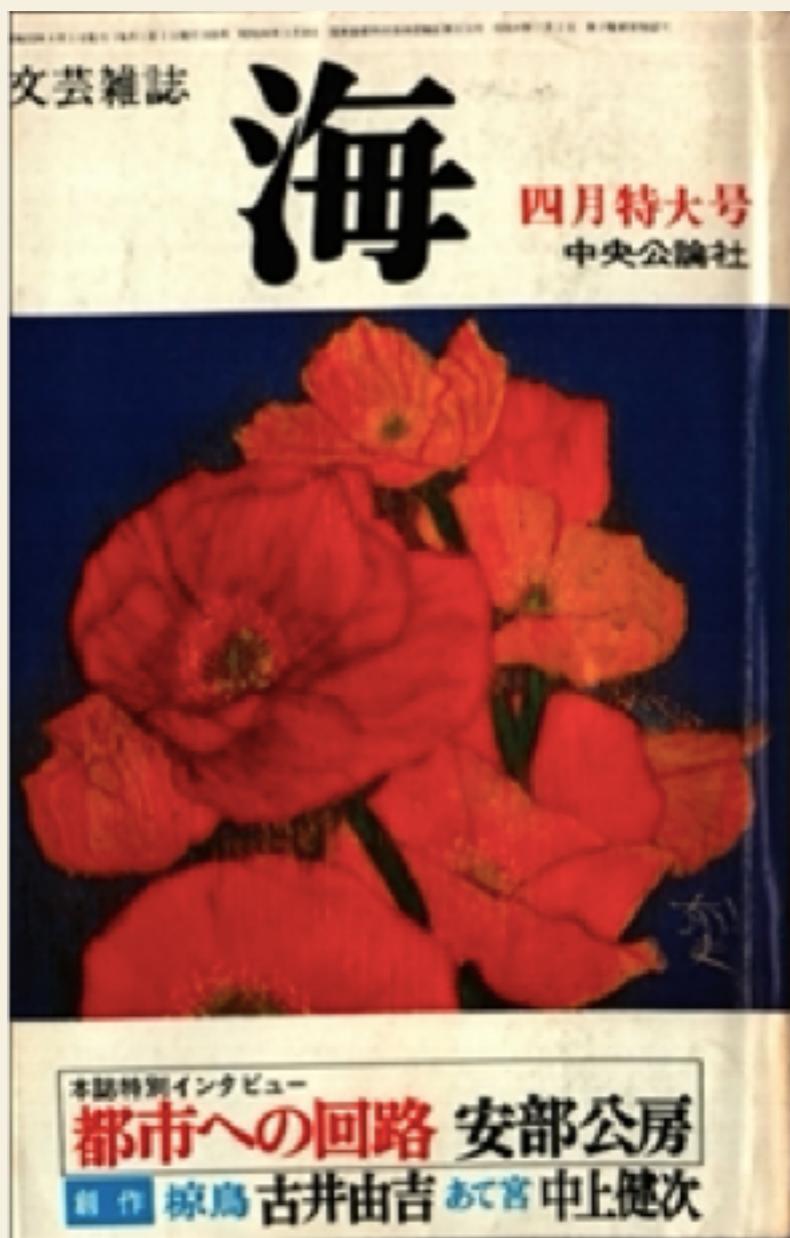
唯 去つて行くものだけが黙してゐる
唯 消えて行くものだけが黙してゐる
例へば愛する友などの様に
身近である事もいとほぬものだけが
喜びも悲しみも告げる事なしに



『都市の回路』論
(3)

岩田英哉

あなたに当時の安部公房のゐた文学の世界を知つてもらふために、順序が逆になりましたが、『海』の表紙と目次を掲げます。それから、本題に入ります。



海 一九七八年四月特大号 目次

海の手帳 日本版風 アレックスの「白夜」 クライバー「樺姫」の新録音 ササソレ・セッシン	ロシア旅行 武田百合子	徴用中のこと 井伏鱒二	果ての姿 野坂昭如	羽搏く鳥 芝木好子	レンズ下の聖李 赤瀬川原平	あて宮 中上健次	棕鳥 古井由吉
絶句拾遺 目録散歩 響く歌び 藤枝風流	陳舜臣 飯島耕一 柴田南一 山下洋輔						
205 231 161 23	120	112	106	100	24	68	10

本誌特別インタビュー
都市への回路 (一七〇枚)
小説と演劇、写真と音楽、戦後の軌跡について語る十時間

★付「カメラによる創作ノート」

安部公房

あしのおとき S・ベケット	翻訳の時代 ドナルド・キーン	『文章読本』をめぐって 出口裕弘	蒲原有明論 澁澤孝輔	小林秀雄論 粟津則雄
最新作二篇 「あしのおとき」 「S・ベケット」 高橋康也	或る死にかかはる詩 詩の発見 入澤康夫			
232	274 271 270 268 266	271	258	162 140

表紙 平山郁夫/目次表 山口長男/本文カット 鶴見雅夫

2. 『海』のインタビューの最初にある中見出しに従って『都市の回路』の論点を整理する

編集部のつけたインタビューの大見出しは次のやうになつてゐます。

- (1) 小説『密会』をめぐって [引用者註：聴覚の小説『密会』論]
- (2) 演劇について
- (3) 写真について [引用者註：視覚の小説『箱男』論]
- (4) 音の領域
- (5) 都市に向つて

この五つの論点の下位分類にインタビューの冒頭の安部公房の写真の下にある中見出しをおくと次のやうになります。

- (1) 小説『密会』をめぐって [聴覚の小説『密会』]
 - ①病院という舞台
 - ②強者と弱者
 - ③逆進化の逆説
 - ④現代小説の陥穽
 - ⑤マルケスとポー
- (2) 演劇について
 - ①アメリカの『友達』
 - ②演劇の現代
 - ③夢と俳優
 - ④デジタルとアナログ
- (3) 写真について [視覚の小説『箱男』]
 - ①写真について
 - ②覗きの構造
 - ③廃棄物
 - ④盗聴とセックス
- (4) 音の領域
 - ①音楽の時間
 - ②抒情の効果
- (5) 都市に向つて
 - ①花田清輝

- ②国家と暴力
- ③都市に向って
- ④祭りへの不信

以下これらの分類に従って安部公房の発言を詳細に論じます。上記（１）から（５）の項目は互ひに関係してゐるので、先んじて言及したり、後になつてから前の項目に言及するといふことになると思ふので、御了解願ひたい。

2.1 (1) 小説『密会』をめぐる [聴覚の小説『密会』]

このインタビューの行はれたタイミング（契機）は、インタビュアーが「昨年末、安部さんは四年ぶりに長編小説『密会』を発表され、同時に、スタジオ公演の一つの頂点をなすと思はれる『水中都市』を上演されましたね。前作『箱男』を発表されたのが一九七三年で、この年に、安部さんは演劇グループ「安部公房スタジオ」を結成され、第一回の公演を行なっておられるわけです。」とありますので、インタビュアーの続けていふ通り「そこで、このインタビューでは、『箱男』から『密会』にいたるこの四年間をとってみて、その間に安部さんが関心をもつてこられたこと、安部さんが実際になされた仕事について、主にお伺いしたいと思うのです。」といふこと、これが此のインタビューの目的です。整理すると、次にやうになります。

- (1) 期間：1973年から1977年まで
- (2) 作品：『箱男』から『密会』まで
- (3) 舞台：『愛の眼鏡は色ガラス』から『水中都市』まで

『水中都市』の上演の詳細を全集第25巻より引用します（同巻の後（うしろ）から13ページ）。

〔戯曲〕水中都市（ガイドブックⅢ）（1977.11.5）P.505

〔初演〕1977年11月5日-27日 安部公房スタジオ公演（渋谷・西武劇場）

作・演出・音楽：安部公房、美術：安部真知、照明：河野竜夫、音響：鈴木茂、舞台監督：山崎彰、衣裳製作：森本由美子、制作：西武美術館

出演：飛娘・山口果林、飛父・岩浅豊明、取調官・宮沢譲治、時計屋の女主人・八幡いずみ、記者（女主人の夫）・伊藤裕平、同僚A（記者）・加藤斉孝、同僚B（記者）・寺田純子、花屋・沢井正延、警官A・丸山善司、警官B・金学隆、インターン・平野稚子、時計小売業組合理事長・金学隆、街の時計屋1・平野稚子、街の時計屋2・夏目京子、街の時計屋3・伊藤麻子、物理学者・丸山善司

〔初出誌（テキスト）〕1977年12月号『新潮』（新潮社）

〔再演〕1978年6月16日-18日、西武大津ショッピングセンター・西武ホール。6月26日、名古屋・中日劇場。7月3日-6日、大阪・毎日ホール。

*小説「水中都市」（1952.6.1、本全集3）を元に戯曲化された作品。

インタビュアーである『海』の編集長、埴嘉彦とのインタビューを終えて、安部公房は単行本『都市への回路』の「あとがき」に次のように書いてゐる。これから此のインタビューを読む私たちの指針となるでせう。

「書くことには集中があり、対話には挑発があり、談話には自由がある。

この長時間のインタビューは、さいわい埴嘉彦君という聞き手を得て、その三つの要素を兼ねそなえることが出来たように思う。

はさみ込みの写真は、とくに内容とは関係がない。本文が肉声による歩行だとすれば、写真は視線による歩行である。日頃のぼくの「目くぼり」を感じとってもらえればありがたい。

(略)

昭和五十五年四月

安部公房

(全集第27巻、48ページ)

2.1.1 ①病院という舞台

埴嘉彦は、『密会』といふ小説を「いろいろな意味で、これまでの安部さんがいままでになさってきたことがみな含まれてゐるような感じを受け」として、小説の特徴として次の12の特徴を挙げてゐる。埴さんといふ方は、安部公房作品の読み巧者です。私の云ふ公房読みまたはコーボー読みの御一人です。

- (1) 舞台が病院であること
- (2) エピグラフ：弱者への愛には、いつも殺意がこめられている――
- (3) 逆進化
- (4) 「試験管ベビー」として生まれた副院長の秘書の女
- (5) 愛と他者の問題
- (6) 『密会』の持つ神話性
- (7) SF的な医学用語
- (8) 人間の生理
- (9) 安部公房の文体と直喩「～ような」
- (10) 小説のノート形式
- (11) ガルシア・マルケス
- (12) 推理小説の形式とエドガー・アラン・ポー

以下上記（１）から（１２）について一つ一つ見てゆくことにします。インタビューの言葉の引用には鉤括弧を付して引用します。

（１）舞台が病院であること

安部公房の読者には周知のことですが、「病院という場所は、『密会』においてはじめてあらわれたわけでは」ありません。むしろ安部公房が「好んで取り上げて」来た舞台ですが、今回もまた病院を舞台にした理由を尋ねられて、安部公房の答へは、現代の社会に限らず、そもそも人間の社会といふものが病院「みたいなもの」即ち「のやうな」ものだといふものです。これを更に、「病院が社会の特殊な一部というよりその投影というか、ちょうど建造物とその上下水道の配管のような関係」だと説明してゐる。

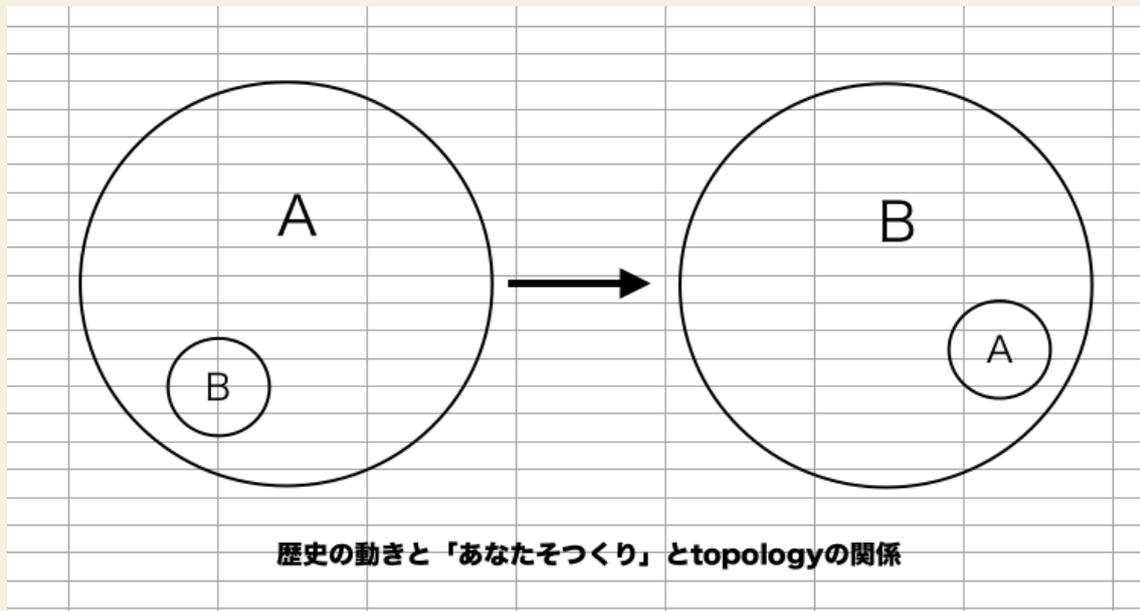
この「病院が社会の特殊な一部」ではなく、逆に社会が病院の一部であるといふ論理の倒立は、安部公房の御家藝トポロジーの論理であり、「特殊の中の普遍」〔註１〕を求める安部公房の思想の表白です。このことを、続けて、病院が社会の投影であるといつてゐる。病院は社会の投影である。これを、安部公房は更に続けて「ちょうど建造物と上下水道の配管のような関係」と呼んでゐます。どちらが建造物で、どちらが配管であるのか。建造物は地上の社会なのであり、「上下水道の配管」が地下に存在する病院であるといふ理解が正しいでせう。あなたは如何思はれるか。これは『方舟さくら丸』で「方舟さくら丸」が地下に建造されてゐるのと同じ論理の説明になつてゐます。この地下の世界にある存在と地上の時間にある現存在との関係が、この配管と建造物の関係「のよう」だと安部公房は言つてゐるのです。存在と現存在と時間といふ哲学用語を使つて説明すれば、このやうになります。といふことは（現存在、時間）が地上であれば、（存在、空間）が地下の世界であるといふことになり、この対比はそのまま『方舟さくら丸』の世界への、安部公房の小説世界への構造的な案内地図になつてゐます。小説の中に出てくる同等の役割を演じてゐる電柱に貼つてあるポスターやチラシやS・カルマ氏の追いかける名刺を思つて下さつても良い。これは皆存在へと読者を導く案内人であり、ガイドであり、ガイドブックである。勿論、これは『密会』や『方舟さくら丸』に限つたことでなく、初期安部公房から終始一貫してゐることです。

〔註１〕

『札幌文学への批判』（もぐら通信第62号）から引用します：

「「特殊性の中にほうがんされない普遍性はない。同時に、普遍性につらぬかれぬ特殊は存

在しない」とは、内部と外部を交換し、その境界域の両義性に身を没して自己を生かす topology の考へ方です。これは、単なる言葉の意味と位相幾何学的な問題だけなのではなく、歴史が其のやうに展開し、人間に働きかけるものだからです。歴史の根本的な変化は、言語 (logos) の観点からみると、いつも次のやうに動きます。安部公房は当然このロゴスの働きを知つてゐたのです。宇宙は単純にできてゐる。小学生の安部公房の知つてゐた「奉天の窓」です。Aをあなただと思つて見ませう。すると、→は、次の次元へのあなたの失踪を意味するといふことになります。Bをあなただと思つてみませう、「あなたそつくり」の、しかし、異次元での、また別の人生がある。といふことになります。あなたは何処にゐるのか？



」

さうして、安部公房は何故病院かといふ問いに自問自答するやうに次のやうな考へを明らかにしてゐます。

安部公房は医学が人間の精神と肉体に関わる科学であるといふことを前提に、物事と人の在り方を、医学「以前」と医学「以後」に分けてゐます。「～以前」と来れば、これはそのまま安部公房の超越論の世界の問い、即ち「そもそも」の世界を問ふ問であることは、これも読者に周知のところですから、安部公房は此処で、そもそも医学とは何か、従ひ、そもそも科学とは何かといふ問を立てて答へてゐるのです。このそもそもの世界、本質の世界、この医学「以前」科学「以前」の世界が地下にある配管の設計図だといふのです。安部公房は直喩の作家ですから、これは隠喩 (メタファ) なのではなく、あくまでも、「～のやうな」譬喩 (ひゆ) の世界の話だと理解して下さい。

医学といふ科学、否、科学「以前」を巡つて、安部公房の口から次のような言葉が出てきます。

- (a) 医学の確立する以前の医術
- (b) 医学の確立する以前には「かなり不可解で謎めいたものだつた筈の」病気
- (c) 病気の原因としての悪霊
- (d) 病気の原因としての前世の因縁
- (e) これらの原因と結果としての病気。従ひ、
- (f) 治療者としての呪師

対して、今の科学としての医学は何をし何をどう考へてゐるかといふと、

- (g) 生理的なノーマルとアブノーマルの区別
- (h) 「トータルな人間の欠落の補修といふ動機」から生まれた筈の「治療の観念」。しかし、
- (i) 医学は、「現在の病院では、その〔構造の〕中の生理的なものだけを分離してあつかう」といふこと。しかし、
- (i) 「治療の観念」に含まれてゐるのは「人間がより健康になるという願望であり、その意味するところが「生理的なことだけではなく、存在総体として、より適応力の強いものになりたいという願望」であるといふこと。この願望を医学は満たしてゐないといふこと。
- (j) 上記(i)の例として挙げれば、「現にいまだつて姓名判断や、家の方角、そういう迷信的なものが依然として残っている」。これら(g)から(i)までのことを、安部公房は「トータル」と呼び、そのやうな根底の上に本来は存在してゐる人間を「トータルな人間」と呼んでゐる。
- (k) 上記(j)の例に鑑み、人間の生理的な側面のみならず「そういう全体〔トータルであること〕に対する病院的な役割を考えると、教育の問題も入るし、政治の問題も入るし、あらゆるものが病人と医者という関係で対応しているわけだ」といふのが、安部公房の考へであり、直喩「～のやうな」で結びつけられ得る、地上の建造物と地下の配管設計の関係といふわけです。この関係は隠喩（メタファ）のやうな直接的な接続ではないので、安部公房は上記のやうに投影と言つた。対照的な隠喩の作家三島由紀夫の小説を読むと違ひが判ります。

このやうに一つ一つの項目を吟味して来ると、何故安部公房が医学部を出ても医者にならず、作家になり文学者になつたかの理由が非常によくわかります。東京帝国大学の医学部に入学したのは、母よりみが行けと言つて、父浅吉と同

じ医者になることを求めたからだといふことは、安部公房がどこかに述べているし、読者にも周知のことですが、さうでなくても、安部公房の志が此のやうな志であれば、医者であることには取まらなかつたでせう。

そして、これらのことを述べた後で、この病院といふ舞台設定をする理由を次のやうにまとめてみます。

「なぜ病院を舞台にしたかという、病院の中にいろいろなものが含まれているというより、われわれの生活のトータルなものの中に、象徴的に病院的なものが含まれているという気がしたからなんだ。」

安部公房は「気がした」といつてゐますが、実際にはさうではなく、確信があつた筈です。此処で私たちは初期安部公房の書いた処女作『終りし道の標べに』に頻出する「存在象徴」といふ初期安部公房用語の意味を思ひ返してみると良いのではないでせうか〔註2〕。このインタビューでの上記の安部公房自身の説明に即して、今此処で「存在象徴」の意味を解説すれば、時間の存在する地上に現存在として生きてゐる私たち一人ひとりの人間と其の集合たる社会で、個人は地下にもぐつて（これが安部公房の好きな言葉もぐらの意味するところ）存在になつて時間の外部に出て自己を喪失することによつて、我が身を媒体として自己の存在の意義が時間の中であつても象徴として現れるのだ。これを存在象徴といふのだ。といふことになります。一度主人公であるあなたは地下の配管の迷路の中を彷徨ひ（これが地上と時間からの失踪といふこと）、そこから地上と時間の中へと脱出すること（これも安部公房の主要な主題であり動機である）を物語の中で繰り返すが、しかし、長編小説の結末を見ればいづれも皆、その現存在であり続けることはうまく行かずに、有機物または無機物の案内人に手を引かれて、また次の存在へと脱出するプロットも明らかであり、主人公は今現在の現存在としての自分の死と引き換へに、次の配管の迷路の中へ、存在の中へ、即ち地下の中へと脱出をする。この理解が正しいかどうかを検証するために、今『終りし道の標べに』を任意に開いてみると次のやうな言葉がありました。

〔註2〕

『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について（3）』（もぐら通信第59号）の「IV 「転身」といふ語のある小説を読む（「②詩と散文統合の為の問題下降」期の小説）」> 「1. 「②詩と散文統合の為の問題下降」の時期」> 「（2）詩と散文の統合：詩形式による「今後の問題の定立」（『無名詩集』）」より引用します：

「【散文に関する結論】

『終りし道の標べに』では、

(1) 安部公房独自の話法、即ち内省的な記憶の中での「僕の中の「僕」」に呼びかける話法にあつては、会話は《 》でやりとりされてゐる。それから、

(2) 此の意識に連なる場合の哲学用語についても、《 》で書かれてゐる。これに対して、

(3) 呼びかけない話法、即ち形式上普通の話法にあつては地の文の中で「 」で語られてゐる。

(4) 『終りし道の標べに』は、このやうな二層の構成をとつてゐる。そして、

『名もなき夜のために』では、

(1) 《 》の使ひわけはそのまま〈 〉といふ記号として『名もなき夜のために』に受け継がれてゐる。しかし、この使ひわけはもつとよく整理されてゐて、

(2) 安部公房独自の話法の内にある詩の世界の言葉だけが〈 〉といふ記号で識別されてゐる。一言でいへば、リルケの世界に関する用語だけが〈 〉の中にある。勿論哲学用語と重なる同じ言葉はあるが、それは哲学用語ではなく、リルケと自分の詩の世界の言葉である。哲学用語が〈 〉の中にあることはない。即ち哲学用語は地の文の中に問題下降されてゐて、普通言葉になつてゐる。

(3) 『終りし道の標べに』を問題下降して『魔法のチョーク』を書くために、『無名詩集』をも併せて問題下降した数学的中間項である詩的・散文的作品『名もなき夜のために』は、『終りし道の標べに』を踏襲して、このやうな二層の構成をとつてゐる。

(4) 『名もなき夜のために』では、後述する安部公房の問題下降の努力によつて、安部公房らしいことに、《 》や〈 〉の記号の階層にある文と地の文に書かれた文字そのもの、文章 (text) そのもののtopologicalな交換、即ち『デンドロカカリヤA』(雑誌「表現」版)の主人公コモン君の経験した座標の喪失、即ち内部と外部の交換を、安部公房は『名もなき夜のために』で、自分自身の事として、そして文章 (texts) の問題として実行した。これは、全くバロック的な試みであるといふ事ができる。

このやうに意図して、また同時にtopological (位相幾何学的) な方法で、安部公房は詩人から小説家になつたのである。この論理的な、問題下降による変身または「転身」は、誠に安部公房らしい。」

「一切が《斯く在る》へ、そして《斯く在る》から没落する粘土の世界から、一才が上昇し始める世界に生まれ変らねばならぬはずだ。」(全集第1巻、388ページ下段)

《斯く在る》とは時間の中の現存在として個人として人間が存在してゐるといふ意味です。そして、これは矛盾である。何故なら存在には地下の粘土の世

界同様に時間が存在しないから。《 》といふ安部公房の決めて此の意味を割り当てた存在論の記号は、現存在と存在を意味することは初期安部公房論『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について』（もぐら通信第56号から第59号）で既述の通りです。

次に、「存在象徴」といふ言葉を同じ小説の中に探してみませう。これらを用例として《斯く在る》と存在象徴の意味を理解してほしい。これではまだ足りないといふ方は、『終りし道の標べに』を読んでほしい。

「いま少し静かに《斯く在る》を見詰めた。そして存在象徴の肉体をじかに触れて見たいのだ。」（同巻292ページ上段）

「そして私は《斯く在る》のは存在の象徴だと考える。そのように《私は在る》のだ。私も亦《斯く在る》とつぶやこう」（同巻279ページ下段）

「価値や真理の拠所を存在象徴そのものにまで引きずり下ろしてはならない。それは各忘却の刹那が自ら定め礎き上げて、各々の呼名をその上に創造すべき筈のものだ。」（同巻284ページ上下段）

「やっとなんげかに浮んで来る忘却の追憶から、唯《斯く在る》を存在象徴として想わねばならぬとは……。」（同巻289ページ下段）

「そして私が故郷を失ったと言う事は、その人間像を自我の存在象徴と融和させる事が出来なかった点に在るらしいのだ。つまりその故郷はやはり真理や価値と同じく、各象徴の刹那毎に生み出され、定められる存在象徴に過ぎぬかも知れぬのだ。」（同巻302ページ上段）

「他のどんな言葉を以てしても説明し得ない《斯く在る》が、即ち赤裸々な存在象徴だ。」（同巻303ページ下段）

『密会』のインタビューでの安部公房の回答を元にして『終りし道の標べに』を読み返してみると、非常によく理解ができる事が解ります。即ち、これも上記初期安部公房論にて論証した通りですが、安部公房の主題は哲学用語と存在論の記号を文章から消しただけであつて、主題と動機は、初期安部公房の時代から、その後も全く変はつてゐないといふ事です。といふことは、安部公房の都市論も、この『密会』と同様に、地下の存在の配管と地上の現存在として時間の中にある建造物と同様の、それも直喩「～のやうな」投影の関係にあるといふことを意味してゐます。

これが「都市への回路」といふインタビューの題名の意味です。即ち、

- (a) 「都市への回路」といふ迷路のやうな配管の仕様と設計図は地下にある又は地下である存在に存在してゐる。
- (b) 都市は、この回路の上に、地上に、時間の内部に、現存在として存在を投影しながら、または投影されながら《斯く在る》。
- (c) 「への」といふ都市と回路を接続する助詞が、直喩「へのやうに」といふ譬喩による投影である。投影を数学用語で写像・mapping（地図を作成する）と呼び替へても良い。これが『方舟さくら丸』に、視覚のズレといふ差異を利用したあの立体的に平面地図が立ち上がる航空写真の地図になつてゐる。

これで、何故このインタビューが『都市への回路』であるのかの理由が明らかになりました。安部公房の都市論は、この構図の中に《斯く在る》。従ひ、都市論とともに語られる正統と異端論も、都市と農村論もみな、この構図の中で語られる。

以上が、単行本のインタビューの開始からたつた2ページの間に語られてゐることである。何といふ「書くことには集中があり、対話には挑発があり、談話には自由がある」といふ「あとがき」にある安部公房の感想の言葉通りの、これら三つの要素の兼ね備へた豊かな対話であることか。

以上の理解を元に、いよいよこの有名なエピグラフの話に入ります。

(2) エピグラフ：弱者への愛には、いつも殺意がこめられている――

(続く)

新発見のカフカ描画集の発刊

岩田英哉

カフカの描いた絵が発見され、画集として世界7カ国で出版されます。ドイツでは、カフカはドイツ語で書いた作家ですから、既に出版されてゐます。日本ではアマゾンで買ふ事ができます。



上掲の版はドイツ語版の表紙です。

出版社： C.H.Beck, München

编者： Andreas Kilcher.

ページ数： 368ページ

カラー刷りの写真：229枚

本の大きさ：21 x 3.5 x 29cm (二つのリボンの葉付き)

絵の寸法：ほぼ全ての描画は原画通りの大きさ

日本語訳はありませんので、日本のアマゾンでの検索語は：Die Zeichnungen

以下、私が契約してみて50年の付き合いにならうかといふドイツの本屋wbg (Wissenschaftliche Buchgesellschaft) の案内文を和訳します：

世界的センセーション：新発見のカフカの素描画

フランツ・カフカに特別な絵筆の才能があつたといふことはほとんど知られてみませんでした。長年の遺産継承の権利争ひが終はり、やつと新しいカフカが発見されました。『フランツ・カフカ：素描画集』は、この作家の絵の全体像を初めて提示してゐます。

何しろ、世界的にセンセーショナルな出来事です。手に取れば、驚きの藝術の全作品を発見することです。あるときは写實的に、ある時は幻想的に、また幾つもの気味の悪い、グロテスクな絵。Andreas Kilcher, Pavel Schmidt und Judith Butlerといふ一級の藝術家と文学者による解説があります。素晴らしい麻織の装丁です。

フェリーツェ・バウアウ宛のカフカの手紙にはかうあります：

「あのね、フェリーツェ、僕は昔偉大な素描画家だつたんだよ… あの素描画が、その昔、僕だつたのさ。もう何年も前のことで、ほかの何よりももつと満たされてゐた時代の話だけどね。」

やつと2019年になつて、フランツ・カフカの100を超える素描が現れました。これは、それまでスイスのチューリッヒの銀行の金庫に何十年も封印されて保管されてゐたものです。

カフカの初期の、何よりも1901年と1907年の間に、カフカは集中的に素描を描きました。たくさんの素描の画帳全体が今やつと、バラバラになつてゐる一枚ものの数十の素描と一緒に、日の目を見たのです。そこにあるのは、壊れやすい、止まることのない、そして同時に謎めいてゐて人を魅了せずにはゐられないものの形姿です。

カフカの素描は、写実から幻想へ、更にグロテスクへと傾斜して行きますが、往々にして不気味でもあり、またカーニヴァル風でもあります。作家としてのカフカの他に、もう一人のカフカがゐて、二人で描いたものだと、みると直ぐ判ります。この画集は、素晴らしい複製と、分かり易い解説の付いた画集で、これで初めてカフカの全体像が発見されたといふべきです。

フランツ・カフカの新発見の素描の話は、友人マックス・ブロートが、カフカの生前その群を抜いた素描の才能として認めてみたものです。カフカは死後には自分の素描は破棄してくれといひ残しましたが、ブロートは、文学的な原稿と一緒に捨てずにとつておいたのです。1939年、ブロートがカフカの素描と原稿を鞆に詰めて、ナチスから逃れてパレスチナに亡命したので、そこで二度カフカを救ったこととなります。

1956年、スエズ危機によつてイスラエルが脅かされた時に、ブロートはカフカの遺稿をチューリッヒの銀行の金庫に預けました。これを、ブロートは自分の秘書のイルゼ・エスター・ホッフエに遺贈しました。この秘書の死後、長い年月にわたつて此の遺産を巡つて権利の争ひが起きましたが、遂にイスラエルの国立図書館に収蔵されました。2019年、実際には全く知られてゐなかつたカフカの素描画見つかり、死後95年後に光が当たつたといふわけです。

この画集には、カフカの絵画の全作品が初めて収められてゐます。この本は7カ国で同時発売になります。

と、ここまで翻訳してみたところに、ドイツの別の情報源からもつと詳しいブログに発表された解説記事が入つて来たので、以下に訳出します。これを読んで、コーボー・ファンは同時にカフカ・ファンでもありませうから（私もその一人ですが）、お買ひなるかどうかを判断なさるのが良いかも知れません。結局私は、以下の訳文を書いてゐるうちに買ふことに決めてしまひました。それは、安部公房の世界に余りにもよく通じてゐて、似てゐるからです。

<https://www.br.de/nachrichten/kultur/franz-kafkas-neu-entdeckte-zeichnungen-als-buch,SniTBE8>

04.11.2021, 02:20 Uhr

新発見のフランツ・カフカの素描画が本になつた

2019年に初めて公開されたフランツ・カフカの素描が今回「世界のセンセーション」として公にされました。一人の此の本当に偉大な作家を見直してみませんか？ [寄稿者：Knut Cordsen (クヌート・コルトセン)]

1913年2月11日と12日付のフェリーツェ・バウアーへの手紙の中でフランツ・カフカは自分の絵の腕前を自慢してゐます。「僕の絵は気に入つてくれた？フェリーツェ、実はね、僕は昔偉大な素描画家だつたんだよ。ところが、ある時酷い女流画家の元で学び始めたところが、学校教育並みの素描の描き方で、僕の才能をすべて台無しにして仕舞つたんだ。考えただけで分かるだらうつてことさ。でも、待つてほしいんだ。今度僕の昔の絵を送りますから、きつ

と君は笑つてしまふこと請け合ひだよ。あの素描画が、その昔、僕だつたのさ。もう何年も前のことで、ほかの何よりももつと満たされてゐた時代の話さ。」

とりわけ、カフカの学生時代および法律のインターンとして働いてゐた時代の1901年から1907年までに、とチューリッヒの文学者で編集者のアンドレアス・キルヒャーは此の素描画集に寄せた有益なエッセイに書いていますが（他にはジュディス・バトラーの広範囲に亘るエッセイが収録されてゐる）、これは此の時期にカフカの描いた素描です。しかし、『歌手ジョセフィーネ、または鼠の大衆』の原稿の上に描いてある婦人の頭部の証明してゐるやうに、カフカは1924年に亡くなるまで素描を描くことに忠実でした。

銀行の金庫に保管

何十年もの間、2019年になるまで、カフカの素描画はチューリッヒの銀行の金庫に保管されてゐて、やつと初めて公開された100を超える画は、神話に包まれた謎といふことになつてゐましたが、それは取り分けミュンヘンの出版社マイケル・クルーガーが出版する努力をしたものの、失敗に終はつてゐたからでした。このプラハの作家による素描のうちの44枚は、これまでに世界に知られており、カフカのペーパーバック版のタイトルページに掲載されてゐましたし、あるいは、アンドレアス・キルヒャーが既に書いていることですが、カフカの友人で遺産管理人のマックス・ブロートがその44枚のうちの二枚を1952年にウィーンのアルベルティーナ美術館に売つたことで、藝術作品だと「鑑定され、[収蔵されることで]高貴なものになつた」わけですが、伝へるところによれば、たった150USドルであつたさうです。

1948年に既にブロートは、カフカの遺言に従つて破棄することになつてゐた全ての素描を保管して編集する計画を抱いてゐました。ブロート曰く、私はまだ選び抜いた素描を大量に所有してゐるが、これはいつかはカフカ・ファイルとして世に出すべきものである、と。しかし、マックス・ブロートの生前には全くさうはならなかつたのです（ブロートはイスラエルのテル・アヴィヴで1968年に亡くなつてゐる）。

ブロートの秘書であり相続人であるイルス・エスター・ホッフエは、聖書的な101歳といふ高齢で亡くなるまで素描の上に謂はば座つて動きませんでしたので[相続人を指定しなかつたといふ意味]、何年にもわたる、カフカエスク（カフカ風な）と呼ぶに相応しい「審判」を巡る数限りない争ひの結果、遂にカフカの描いた作品はイスラエル国立図書館の所有物となり、出版社による

「新たに発見された素描の世界的なセンセーション」といふ宣伝が生まれることになったわけです。

断片、肖像画、スケッチ

自称「偉大な素描画家」であるカフカが、その素描を世界的なセンセーションですよと大声で叫んだかどうかは、甚だ疑はしいといつて良いでせう。第二次世界大戦直後に早やマックス・ブロートは書いてゐるのですが、カフカは「彼の文学的な作品を世に出すことに対する関係よりも、彼の絵に対しては更に敵対的な関係にありました。私が救はなかつたものは無くなりました。私はカフカの云ふ「落書き」を寄越せと言つて貰ふか、またはそれらを屑籠から取り出したわけです。ええ、さうです、大学の法律教科書の本といふ本の端々からそれらの多くを切り取りました。」かういふわけで、それらがどのように見えるかといふことになるわけですが、それがカフカの断片、スケッチの一枚一枚、明らかに鉛筆とインクで素早く描かれた肖像画研究のものであり、それらは芸術的価値を客観的に測定することがほとんどできないのは、カフカの持つオーラの力が其の上に層をなして被さつてゐるからです。

棒人間 [註1] の小男と小女の原著作者を、抽象的な波形の線と「考へに耽つてゐる走り書き」（といふのはカフカの素晴らしい伝記作者ライナー・シュタツハの的を得た表現の借用ですが）の原著作者のことをもし知つてゐなかつたら、それらをカソリック教会でいふ聖遺物だとして取り扱ふのではないでせうか？

[註1]

「棒人間とは、人体を極端にデフォルメし、手足を棒のように表現したキャラクターもしくはイラストである。通常、キャラクターの頭部は円、胴体と四肢はそれぞれ直線で表現される。また、時に胴体を適当な曲線で囲った枠のように表現したり、コンピュータグラフィックスにおいては細長い楕円や長方形を線の代りに使う場合もある。」 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/棒人間>)



「数多くの奇妙な人」

カフカが紙に描いたのは、しばしば「多くの奇妙な人」（マックス・ブロート）です。ここに「奇怪な夫婦」がゐますが、これは、1911年7月1日のマックス・

ブロートとワイマールへ旅行した途次に出来た、ゲーテの園芸館をハッチング
 [註2] したものです。[訳者註：ここで記事の執筆者が置いてみるのは次の
 絵ですが、どれが「奇怪な夫婦」の一枚なのか不明ですので、ここに挿入され
 てみる絵を全て掲示します。絵の題名を見ると「奇怪な夫婦」はないやうで
 す]



『表紙画像』

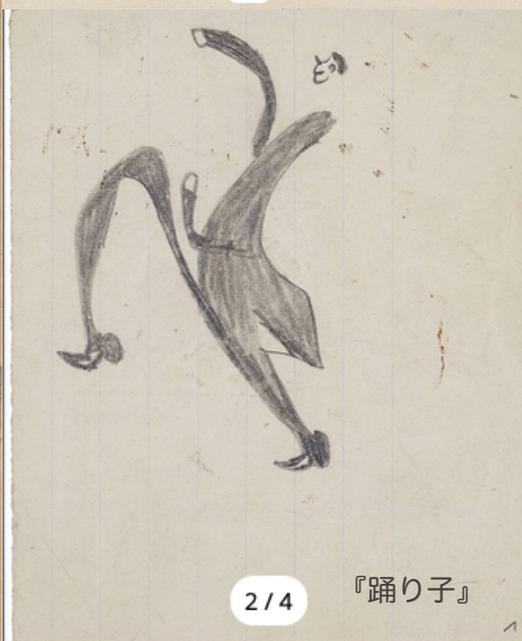


『無題』



3/4

『富の驕り』



2/4

『踊り子』

[註2]

ハッチングと訳した原文はSchraffurです。ドイツ語のWikipediaから訳出します。カフカが何故法学を学んだのかが、この描法の好んだことから解りますし、その文学の性格もよく判ります。そして何故安部公房はカフカのことを「水先案内人」だと呼んでカフカを好んだのかといふことも。<https://de.wikipedia.org/wiki/Schraffur> これは、その人間を描く方法に於いて、棒人間の世界に通じてゐる。なるほど、安部公房には「棒になつた男」が登場するわけです。カフカの棒人間素描と安部公房の登場人物の名前はKであつたり、アンテン君であつたり、コモン君であつたり、S・カルマ氏である理由が、これで、あなたには納得だと思ひますが、如何。私たちにとって大事なことは、あなたや私が人間であることなのではなく、一本一線の《棒》であり《線》であることなのです。これは、安部公房の世界です。

この前に即座にひざまづく必要はありません。秘密を明らかにしてゐるのが、もちろん、この慎重深い版が全てを明らかにしてゐる当のものです。ジュディス・バトラーは、ここで見る事ができるものを次の言葉で要約しています。「この素描画には、線描が動いてゐて、それは水平面の果てし無さと戯れてゐて、その水平線に逆らつて時折曲藝に其の動きはなつてゐて、空中で或るいは不可能な方法で其の描線は伸び、そして背虫になる。その描線は、地面から浮き上がつて両足で均衡してゐて、さうして、重力、姿勢の維持と姿勢の統一、同様にまた数々の地面や壁たちのやうな環境構造からの独立性に疑問を付す様々な体の未完成の輪郭線図を描き続けて止まない。」この手の絵なら、多くの幼稚園の絵についてだつて、これ位に良く書くことができるでせうが……

皮肉・イロニーに満ちた「難しい絵パズル」

しかし、これこそ正に、フランツ・カフカに他ならないのですから、どんな観察者も自動的に非常に大きな解釈の雛形を眼の前にすることになります（自分の身体性についての悩みに関して）。しかし、果たして、これは誰かのために役立つのだらうかといふ疑問だけが残るわけです。三つの線からなる「難しい絵パズル」、これはカフカが1920年にミレナ・イエセンスカへの手紙に入れたものですが、何よりも此れが「難しい絵パズル」の例となつてゐます。カフカの此の手の絵はエニグマと呼ばれてゐて、謎の中の謎だといふので、機械的な註解者によれば、同じプラハの画家でグラフィック・デザイナーであつたゲオルク・ジロフスキーの作品と比較されるにしても、やはり依然としてエニグマです。

カフカにあつては、肖像画が最も印象的です。即ち、複数の自画像であり、そして母親ユーリエの複数の肖像画が、それです。同様に印象の強いのは、といふのはカフカの繊細微妙なるイロニーが其処にはあるからですが、比例に対する配慮と全く無縁の小さな頭をした、幾多の踊り子の広い歩幅（これは遠くから見たジョン・クリーズの『愚者の歩行省』（Ministry of Silly Walks）〔註3〕を想起させますが）、同様にまた、上掲の『富の驕り』と題した寓話風の素描画も、そのシュールレアリスム風の絵画言語は、アンドレ・ブルトンの『優美な死体』（Cadavre exquis）〔註4〕を思はせます。

〔註3〕

Ministry of Silly Walks :

<https://www.youtube.com/watch?v=eCLp7zodUil>



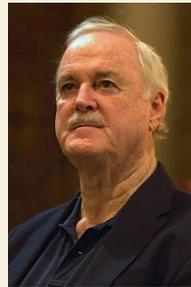
映画『Ministry of Silly Walks』



同漫画



また、「ジョン・クリーズは『モンティ・パイソン』の人物の一人です。「ジョン・クリーズ (John Cleese, 1939年10月27日 -) は、イギリスのコメディアン、喜劇俳優。イギリスを代表するコメディ・グループ「モンティ・パイソン」のメンバー。」 : <https://ja.wikipedia.org/wiki/ジョン・クリーズ>



[註4]

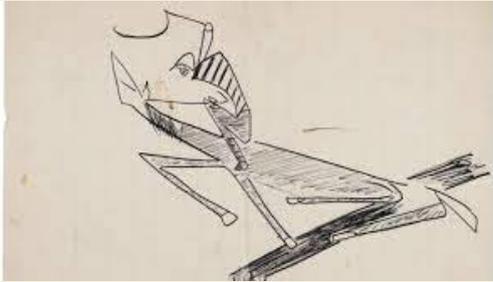
アンドレ・ブルトンの『優美な死体』 : <https://ja.wikipedia.org/wiki/優美な屍骸>



しかし往々にして、この一冊が収集してあるのは、単なるスクラップと傍注だけなのだ。すべての線描は意味を担っているやうに見えますが、それはおそらく線描家の意図にあるものではなかつた。そんなことはどうでも良いのだ。

「カフカに夢中」(ニューヨークの伝説的な文芸評論家アナトール・ブロイヤーがカフカに関する思ひ出をさう呼んだやうに、そんな人は) 誰でも、今、間違いなく、美しくて(文字通りに) 重い本を手にしてゐるのであり、これを研究することは必ず価値あるものとなります。

付記：ネットで検索して見つかった、そのほかのカフカの素描を掲げます。



『文章読本』論

(10)

井上ひさし

岩田英哉

10. 1987・昭和62年：井上ひさし（53歳）昭和生

井上ひさしの著した文章読本には「自家製」と云ふ形容が付いてゐる。この自家製といふところに、この作家の文章読本の妙味があり、これまでの文章読本にはない特色があるのです。

その妙味を、井上ひさしは「滑稽な冒険」と呼んでゐる。これが、作家の筆を執つた動機を表してゐるのです。一体、その冒険とは何で、何故この冒険は滑稽なのかと云ふと、この滑稽感が実に文藝の本質に関はつてゐて、この言葉がそのまま井上ひさしと云ふ作家の文章観であり文体観になつてゐる。私ならば、ユーモアを備へた反時代的精神が文体と云ふ様式を生み出すと云ふところです。この反時代的精神が新しい文体を時代時代に生み出して来たると云ふことは、この文章読本論の最後に示します。

さて、井上ひさしは勿論歴代の文章読本は熟読した上で筆を執つてゐる。さうして、その上で、次のやうに時代について述べてゐる。この文章読本の初版が、1987・昭和62年ですから、これは当時の出版業界の悪弊、読者の読書に関する怠惰、言語の本質への軽視、書籍といふ文化に対する軽薄な態度の横行、時間と歴史の連続を大切にする筈の伝統の欠如、従ひ文化の衰退への警鐘、これらのことへの憂ひが、作家に此の本を書かせた。しかし、これが井上ひさしらしいことに、これらに反抗する自分の作家としての社会的地位は、これでは滑稽であるといふ、さういふ心から「滑稽な冒険」と此の読本の企図を表現し、副題に「自家製」と題した理由なのです。これが誠に井上やすしといふ人間らしいことであり、この人間らしい大変面白い文章読本になつてゐる理由です。

とはいつても、歴代の文章読本の本筋を少しも外れてはゐないのは、歴代の文章読本の共通する指摘事項、即ち、

- (1) 語彙の選別と選択
- (2) 様式・文体・style・スタイルの確立

といふ事の両面に亘つて論じてゐるからです。序論の「滑稽な冒険へ旅立つ前に」と結語の「読むことと書くこと」の二つの章を除けば、その成果といふべき各章の見出しは、バランスよく次のやうな内訳になつてゐる。

- (1) 語彙の選別と選択：計5章
- (2) 文体の確立：計5章

この二つ以外に此の文章読本の特色ある一章があり、それは「話すように書くな」といふ一章であつて、これは章立ての順番でいふと第三章にあたつてゐる。この章はこれまでも歴代の筆者が問題にして来た「話すことと書くこと」についての問題を取り上げてゐます。話すと書くという二つのことの関係についての難しさについての、この作家の解決策であり結論を述べてゐる章です。さて、上記(1)と(2)の内訳を以下に示し、また同時にこれまでの文章読本執筆者、特に丸谷才一の論との関係(井上ひさしは丸谷の読本を高く評価してゐる)及び井上ひさし独自の文章・文体論は()の中に註記しました。

- (1) 語彙の選別と選択：計5章
 - ①第二章：ことばの列
 - ②第五章：文間の問題(丸谷才一の提示した問題)
 - ③第六章：オノマトペ
 - ④第七章：踊る文章(丸谷才一の提示した問題)
 - ⑤第八章：冒頭と結尾
- (2) 文体の確立：計5章
 - ①第四章：透明文章の怪
 - ②第9章：和臭と漢臭(井上ひさしの文体論)
 - ③第十章：「和臭と漢臭」拾遺
 - ④第十一章：文章の燃料(井上ひさしの文章構成形式論)
 - ⑤第十二章：形式と流儀

最初に何故井上やすしが「滑稽な冒険」と題したのかといふ理由を解説して、次に上記(1)と(2)の各章に言及して論じたい。

10.1 何故「滑稽な冒険」なのか

前章で、「この文章読本論の初版が、1987・昭和62年ですから、これは当時の出版業界の悪弊、読者の読書に関する怠惰、言語の本質への軽視、書籍といふ文化に対する軽薄な態度の横行、時間と歴史の連続を大切にする伝統の

欠如、従ひ文化の衰退への警鐘、これらのことへの憂ひが、作家に此の本を書かせた。」と書きましたが、それが読本中にはもつと詳細に述べられてゐて、しかし其の出版業界の売ればよいといふ事業姿勢（本の文化性を忘れてゐる）、読者の怠惰、即ち繰り返し読むに堪える作品と本に対する愛情の衰退、時間即ち歴史の連続性に対する尊敬の念の欠如、従ひ未来への志向の欠落、従ひ今さへよければ良いといふ享樂的な生き方、このやうなことを井上ひさしは次のやうに述べてゐます。

（続く）

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

岩田英哉

藤井巖喜氏の発見した法則、即ち近世500年間の覇権国家同士の争ひによつて、どちらかが勝つといふのではなく、両者が凋落してゆくといふ覇権国家戦争の結末に関する法則は今回の米中対戦にも当て嵌まると考へた上で、ピーター・ナヴァロ著『米中もし戦わば』の中で、更に、この場合の戦争勃発確率について述べてゐるので、そこを引用して、今度の世界大戦への備へとしたい。日本はいふまでもなくアメリカと一緒に心中するわけには行きません。これが日本の国家としてのアメリカに対する消極的な立場です。積極的な立場については掲題の通りの日本一極国家論です。

ナヴァロの結論は、今回の米中戦争の勃発確率は70%以上といふものです。

藤井氏の法則に基づく好例として、ナヴァロは最初に古代ギリシャのスパルタ（既存の大国）とアテネ（新興の大国）のペロポネソス戦争の結果の二者凋落を実例として挙げた後、近代の戦争の例として第一次世界大戦に至つた大英帝国（既存の大国）とドイツ帝国（新興の大国）の例を挙げた上で、次のやうに述べてゐます。

「もちろん、実例二つだけでは理論の証明にはならない。そこで、次の驚くべき統計の出番となる。世界史を概観すると、1500年以降、中国のような新興勢力がアメリカのような既存の大国に対峙した15例のうち、11例において（すなわち、70%以上の確率で）戦争が起きている。この事実だけを考へても、賢明な投機家なら、「今後数十年間、中国は平和的に台頭する」に大金を投げようとは思わないだろう。」

（同書13ページ）

更に、ナヴァロは、シカゴ大学教授ジョン・ミアシャイマーが『大国政治の悲劇』で展開してゐる「説得力溢れる理論」を支へる3つの仮定を次のやうに要約してゐる。

第一の仮定：「世界体制は無政府状態だ。」

第二の仮定「すべての国家は軍事力、つまり戦争のための兵器を増強する。」

第三の仮定：「他国の真意を知ることはほぼ不可能だ。」

以上の三つの仮定が「大国政治の悲劇」勃発の三つの前提といふわけです。以下、それぞれの仮定について補足説明をすると、

第一の仮定については、「この警察不在仮定」の意味するところは、「ある国がトラブルに巻き込まれても110番して警察に助けを求めるわけにはいかない。だから、軍事力を構築して自衛措置を講じる必要がある」といふことである。

これは、私の唱へる各帝国すべてみなEXIT帝国論と同じである。なるほど、私のEXIT帝国論は、言葉を変えて別の視点でみると「警察不在仮定」であつた。それ故に、各帝国が個別に連合軍（united nations）を結成するといふものです。これは既に仮定ではなく、パックス・アメリカの穴によつて現実のものとなつてゐる。たとへヨーロッパのそれぞれのEXIT帝国が東南アジアに艦隊を派遣してゐても、我が国にとては殊に、さうである。

第二の仮定については、同教授によれば、「相手国の軍事力は航空機や火器や船舶その他の兵器の数を数えれば簡単に判断できるが、相手国の意図を知るのはこれに比べてずっと困難である。単に自衛のために軍事力を増強しているのか、征服を目論んでいるのかは判断しがたい」からである。この事実から、第三の仮定が生まれる。

第三の仮定については、この通りで「他国の真意を知ることはほぼ不可能だ」といふことである。これが原因で、過去のスパルタや大英帝国が新興勢力国家であるそれぞれにアテネでありナチスのドイツ帝国であり、これらの新しい国家勢力に対して戦争を仕掛けた国家心理の抱いた恐怖心の原因なのだといふのです。国家理性があるならば、国家心理もあるといふことになります。

ここまで読むと、二大国間の戦争は、新興国の意図が不明で読みきれずに、新興国に対して恐怖心を抱いた既存の大国が宣戦布告するといふ構図を読むことになるが、この読みは間違つてはゐない。「そして、現在アジア諸国及びアメリカが独裁主義的な中国の台頭に対して感じている恐怖の原因はまさに、国家の意図のこの不透明性と、国家間のトラブルを解決する警察官的存在の欠如なのである」からです。この「警察官的存在の欠如」はオバマ大統領のアメリカ

は世界の警察官ではもはやないといふ宣言以来さうであり、事実として中国の東シナ海および南シナ海への侵略は、この仮定の正しさを証明してゐる。

以上のことの上に立つて、同教授の結論は、「すべての大国は生き残りを賭けた問題として、世界的な優位性すなわち「覇権」を求める」といふ結論です。そして、これについて次のやうに補足的な説明をしてゐる。既に以上で十分な説明になつてゐると思ふが、再度引用して耳を傾けることにします。

「米中の今後の行動を正しく予測するためには、「取り締まる者のいない世界には、できる限り強大な国になりたいという強い動悸が存在するのだ」と理解することが必要だ。その理由は、台頭する他国が自国に悪意を持っていないかどうか、どの国も決して確信が持てないからだ。だから、近隣に非常に強大で敵意を持った国があれば（ドイツ帝国やナチス・ドイツや大日本帝国などを想像してみるといい）、各国はそれよりも遥かに強大な力を貯えて安心したいと思うようになる。相手が荒っぽい振る舞いに出ても、国家以上の権威を持った存在が助けにきてくれるわけではないのだから、したがって、取り締まる者のいない世界体制の中で安全を保障する最良の方法は、その地域の覇権国家になり優位に立つことで、どこからも攻撃されないようにすることなのだ。」

（同書15ページ）

このミアンシャイマー教授の引用から理解できることは、次のことである。

- （1）米中はお互ひに覇権拡張の意図を、つまり合理的な意図を理解し合ふことが、数多い多層的な意思疎通を図つたにも拘らず、この話し合ひによつては、結局できなかつたといふこと
- （2）同じことが日中の意思疎通に関しても言へること。即ち、2000年を超える交流あるにも拘らず、中国が此の30年間軍事力を増強し始め、経済力を身につけ始めてよくわかることが、このことである。さうであれば、
- （3）私たち日本の国家としても、中国の意図が不明である以上、対抗均衡策として自動的に経済力の成長と此れに依る軍事力の増強を図るべきこと
- （4）上記の引用の理由により、中国はまづアジアでの地域覇権を確実に掌握することを意図してゐることは自明であること。従ひ、
- （5）日本は米国と軍事同盟を組んだ以上、自主的に地域覇権の確立を確実なものとするべきであること。
- （6）国際連盟と優秀なる日本の外務省官僚によつて悪意ある誤訳をされてきた連合国（united nations）は、いざといふ戦争が起きた時には全く役に立たないこと

(7) それらなば、日本は当たり前ですが自前で自衛しなければならないこと。確かに自衛隊といふ軍隊の名前は此のことに合致した名前であること。しかし、上記(3)のことが欠落してゐることが日本の軍隊としても、軍隊を指揮・命令する日本の総理大臣の持つべき国家観としても、この先の戦争後75年来の由々しき問題は、特に後者に、総理大臣に、また政治家たちにあること。

このやうに軍事衝突への備へと同時に、他方、また此の著者は戦争勃発の契機について、これを「安全保障のジレンマ」と呼んで、次のやうに述べてゐる。

「当然、このような〔国家の意図のこの不透明性と、国家間のトラブルを解決する警察官的不在の欠如の〕実存的恐怖を感じた側は自衛能力の増強に努めるようになり、その結果、危険な拡大スパイラルが生じる。これがいわゆる「安全保障のジレンマ」である。軍拡競争が際限なくエスカレートしたあげく、たとえば、オーストリア皇太子フランツ・フェルディナントの暗殺事件が引き金となって第一次大戦が勃発したやうに、判断ミスや偶発事件によって実際に戦争が起きるといふのが「安全保障のジレンマ」の典型的な経過である。」

(同書14ページ)

とすると、私たちは日本の国家単位で、この単位を主体にものを考へると、経済力を高め、軍事力を増強すると同時に他方、日本にとって敵対的な国である中国との(またはロシアでも同様であるが)、といふことは日本の国もまた同時に中国には敵対的な国家だと見做されてゐることを意味するが、これを自明とした上で、中国との「判断ミスや偶発的事件」および日本自身による「判断ミスや偶発的事件」による戦争の勃発を未然に絶えず防ぐ努力をしなければならないといふことになります。これを果たして日本政府はどのやうにしてゐるものか。政府は、国民にことある毎に説明する義務を負ふ。

間違いのないことは、中国といふ国は近代欧米諸国が此の400年をかけて造り上げ、そして近代国家としての日本の国が遵守して来た近代の西側諸国の国際法を全く守る意志がないことであり、これを逆に全面的に否定する国家だといふことである。即ち、お互ひに、中国とは共通する規則をプロトコルとして意思疎通のために共有することができないとふ此れが現実だといふ認識を私たちは持つことが大事です。さういふことになる。従い、またその結果といふべきですが、政治学や経済学による原理的な思想を、中国は全く欧米西側諸国とは共有してゐない。といふことは、手をこまねいてゐれば、軍事衝突は必至であり、それを未然に阻止するためには、

(1) 中国の国力を弱体化させること

(2) 中国の軍事力を封じ込めてこれ以上の領土の拡張をさせないこと

といふ此の二つの戦略の採用となり、上述の如くに「アジア・太平洋」戦略はそのために有効に機能しており、もつと機能さすべきであり、これは上記(2)の戦略目的の通りですが、これはこれで当面良いとしても、他方、日本の国家に不足してゐるのは、上記(1)の戦略のための統合的な、軍事技術に転用可能な民事技術その他に関する、国家安全保障政策の立法と執行です。

ここで考へるべきことは、上記(1)と(2)は、ゲームの二つのうちの一つである消極的ルールであるといふことを私たちは思ひ出すことです。たとへばテニスでも良いし、バスケットボールでも良い。ゲームのルールは常に競技横断的に、相手の得点の増加を妨害し(消極的ルール)、他方自分の得点の増加を図るものです(積極的ルール)。

ここで、私の提案したいことは、GAME CHANGEです。ゲーム・チェンジ。これまでの考へを改め、ゲームをするのだ、それも全く新しいルールでゲームを世界史を戦場にして戦ふのだといふ発想の転換です。これが上掲の、底辺の矩形の交差点に中華帝国を封じ込める四角錐の実現する戦略であり、これを政治家と官僚と、それから経済界に協力を、強く求めたい。標語をいへば「米中の草刈り場の日本から独立独歩の第三極としての一極国家日本へ」といふことになります。ものの考へ方としては百五十年前の明治維新の時の日本にまづは立ち戻らうといふ考へ方に転換するといふことに自動的になります。この時代の標語は、富国強兵・殖産興業の二つです。

この場合の此の標語の前提は、このことをしなければ、日本は近代欧米列強の植民地になるといふ強い動機と理由から国を改めたわけです。この二つの標語を忘れ果てて、グローバリズムといふ植民地主義に侵略された日本が平成の30年間で米中の草刈り場になるのは当たり前で、これが今の私たちの殊に1992年の天皇訪中といふ世界史に残る日本国の過ち(今日の国際的な政治と経済の惨状をよくみて日本が国家として世界に謝罪するなら此のことを謝るが良い)であるのは、この後の中国の急成長がこの訪中を契機に始まるからです。敵に塩を送るといふ国内で通用する道徳は、大陸の人間たちには通用しない。さうすると、かうなる。我が身を滅ぼす。日本の政府は、この破滅から如何に我が身を救ふつもりか。

さて、以上の反省の上につて、古いゲーム・ルールと新しいゲーム・ルールの違ひは次のやうになります。古いゲーム・ルールは米中による対日封じ込め戦略です。しかし、これを打ち破つて、日本が優位性ある地位を二国に対して確保するための新しいゲーム・ルールの創造をするために相違を確認するものです。

(1) 古いゲーム・ルール

これはいふも愚かなり、要するに日本の国は相手方の戦ひの個別のルールに従つてバラバラにその場凌ぎの弥縫策で、即ちパッチワークで戦つてきたといふこと。それも全くルールの違ふ二国相手であることをもう一度肝に命じてもらひたい。大事なことは、この二つの大国の個別のゲーム・ルールに対抗する日本国家としての統合的・一体的なゲーム・ルールを生み出すことである。

- ①一つは中国
- ②もう一つはアメリカ

上記①の中国の自国内外に亘る横暴と残虐は既に日本の国民の目には余るほどに明らかである通りで、これも上記の通りに国際法に従ふ意志がない国である。それならば、どんな法に従ふかといへば、これが華夷秩序の法であることは歴史的に明らかです。この華夷秩序は、次の二つの柱からなつてゐる。

- ①冊封体制（政治制度）
- ②朝貢貿易（経済制度）

問題は、この二つの制度が外部の他国に及ばず、中国人の伝統的な理屈は内国の範囲を出ないといふこと、従ひこれを外部にそのまま拡大することが他国の服従を求めることになり、アジアの近隣諸国との間で政治的問題を引き起こして来たといふ歴史的事実のあることです。これを私たちは直視しなければなりません。勿論、この場合、上記①の冊封体制を成すにあつては、夷狄である他国の分類があつて序列の呼称も地位も地位の性格も定義されてゐる。これらのことは、中西輝政著『帝国としての中国 覇権の論理と現実』を読んで知つたことで、実に詳細に体系だつて叙述されてゐます。この問題については後述します。この現実認識から良い智慧が生まれるかも知れない。ここでも、私たちが思ひ出すべきは、聖徳太子が隋の煬帝に宛てた書簡の第一行にある「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無しや」とある通りの外交姿勢を維持することです。即ち、日の本の国は中華帝国に対して対等かそれ以上の地位にある日本一極国家として対抗すること対応すること応接すること、そのやうに外交交渉をすることです。聖徳太子の外交姿勢を現代の対中国の外交姿勢の範とすればよい。要するに、習近平を怒らせることは煬帝の場合と同様良いことなのであつて、これを更に要するに日本の国が中華帝国の冊封体制・朝貢体制の外部にゐるといふ事実を中華皇帝にのみならず、諸外国にも知らせることが大事なのだと、聖徳太子の此の故事は今も私たちに教へてくれる。歴史の中に教科書あり。かく思へば、恐らく文部科学省の木つ端役人が聖徳太子の名前を日本史の教科書から消してし

まほうと試みたことは、この経緯から言つても、中国共産党の工作人員になり下がった役人の仕業だといふことになります。賄賂を受け取つてゐるのではないか？歴史の歪曲をした文科省の役人は首になつたのであらうか。ならねば、益々悪は日本の教育界に蔓延る。次の選挙では遠山の金さんを国会議事堂に送りだませう。

今は、さて、米中は戦争を起こす確率が70%以上であることを私たちは知るに至りましたが、それでは米中の直接の戦争になるかといへば、さうはなりません。20世紀に米国とソヴィエト連邦の二大覇権国の戦争が冷戦と呼ばれた上で、否、その下で、アジアに限らぬ地域で代理戦争が起きたやうに、今回の世界大戦でも戦争は結局代理戦争になるのですし、実際既にさうなつてゐるのです。その代理戦争の戦はれてゐる舞台の国が、台湾と日本です。日本についての草刈り場の状態はどのやうなものかについては上述しました。草刈り場になるとは、国民と日本の国の元に留まり還流して国と国民を富ませるべき富が米中に流出してゐるといふことです。この自国の草刈り場に関する現状認識を確かなものとした上で、私たちは台湾の草刈り場の状態も観察して現状認識を深め、日米同盟に附属して接続する台湾を一国として対中華帝国への対策を考へねばならないでせう。この対策に「アジア・太平洋戦略」が更に接続される。いずれが上位戦略になるかは場合に応じます。そして、日本が台湾は中国の一部ではないと主張するならば、取るべき行動は台湾は一国家であると国会で決議することと、政府がそれを内外に宣明することです。どうせ、日米同盟の片方の柱である日本帝国であるならば、いずれにせよ、中華帝国からは敵国と見做されてゐることだからです。それを承知の上で、united nations of Imperial Japanの連合軍を有機的に国家の水準で動かす。まづ、中華帝国の華夷秩序の話をもっと続けて、対抗する戦略を検討した上で、アメリカ帝国に対抗する戦略の検討をし、論じながら対抗二国統合戦略の立案をしたい。中国については、日中の歴史的な対等関係を想起すればよく（聖徳太子に帰れ）、アメリカについては、このヨーロッパの鬼子の国の国家特性と国民特性を想起して対抗戦略を練ることになります。私の今までの、安部公房のアメリカ観に基づいて論じて来た複数の「贗物の国アメリカ」論で、アメリカといふ国家の国体と国制（政治と司法の制度）と国家心理は明らかですので、これを応用すれば対米戦略が生まれる。国家心理とは、アメリカの例で明らかなやうに、国家の生まれて来た由緒であり、縁起であり、由来であり、根拠であり、此れを基礎に由来する国と国民の心理である。これは日本にも同じく適用できるでせう。とすれば、日本の国の国家心理もまた、国の成り立ちの由緒・縁起・由来・根拠・基礎によつて定まる、否、既に定まつてゐると断言することができる。私の考へ方は間違つてゐるか？さう、国家理性に国家心理があるならば、国家意志を付け加へよう。意志がなければ心理は生まれず、意志がなければ理性も生まれぬからである。各自ご研究ください。かく有りたいと云ふ企業意志の質は代表者次第である通り、かく有りたいと云ふ国家意志の質は日本ならば、天皇といふ御存在の意志を別にすれば総理大臣次第、アメリカならば唯一絶対神の意志を別にすれば（聖書に手を置いて就任を誓つた）大統領次第といふことです。

（続く）

サンチョ・パンサを求めて

(19)

禪のすゝめ

岩田英哉

毎度馬鹿馬鹿しいお笑ひを一席。

私は今禪を締めたて此の文章を書いてゐます。何故禪を締めたかといふと、近時つらつら世相を慮（おもんばか）るに日本男子に覇気なく勇気なく、誠に（私のいひ方をまた此処で申し上げれば）キンタマを抜かれた男たちばかりが目につくので、一体これは何か何故こんな惨状を呈することになつたのかと反省したところ、やはり遊牧民の発明になる大陸パンツを履いてきたことが其の大きな原因の一つであつたのではないかといふ事実に想到し、深い反省をしたからです。これが事実ならば、どうしても此れは禪に戻る以外にはない。といふことで、アマゾン様のお棚を覗けば、見よ、禪をクラシック・パンツと文字で書いてあるぞ。要するに、あなたのパンツも、男ならば古典に回帰せよ。と云ふことがいひたいのである。私が禪を締めたことは、私の人生上の古典回帰の一環であるのです。

かくして、私の文化の定義2を示します。いや、正確には男の文化の定義です。定義1は、

文化とは言葉を正しく使ふことである

と云ふことは繰り返し申し上げて来たことですから、この定義1の上に、男の文化の定義として次の定義を掲げるものです。

男の文化の定義

男の文化とは、遊牧民族の大陸パンツを捨て、禪を締めて此れを大切にすることである。

禪を男が締めてキンタマを取り戻すことに結果するといふ私の仮説は次の連鎖によつて成り立つてゐる。

伝統を大切にする＝禪を締める＝伝統文化が体感できる。生理的感覚に古典が生きてゐるといふ実感がある＝戦ふ勇気がガッツが湧いてくる。

そこで、私は日本禪協会を発足させました。勿論、あなたは安部公房の読者ですから、群れをなすことはお嫌いでせうから、一切会員の募集は致しません。もしどうしてもといふならば、裸になつて禪を締めてから頭より冷蔵庫大の段ボール箱を被った写真を添えてお申し込み下さい。公平な審査のもとに入会を当協会が決定致します。安部公房の世界ですから、人種、国籍、言語を問ひません。あつ、ただし女性は積極的にお断り致します。女性に禪は無理です。ただ食い込むだけです。禪は、その文字構成の示す通り、示す偏でありますから、これは厳かなる神事であります。そしてツクリは大砲といふ意味でありますから、大砲をお持ちでない方は入会資格がないのです。大砲の仕様の大小は不問。どうか天下のフェミニズムを信奉なさる女性の皆さまには、男の文化についての御理解を賜りたい。ちなみに、アマゾンで私の購入した禪はこれです。



江戸てん
 [梨園染] 越中禪 (ふんどし) 綿100%
 日本製 メンズ フリーサイズ あさぎ...
 ★★★★★ - 5
 ¥990 ¥1,210
 10ポイント(1%)
 配送料 ¥220

梨園染などといふところを見ると、歌舞伎役者などは今でも禪を締めて舞台に立つてゐるのであろうか。天晴れ、天晴れ、などと、馬鹿なことに喜んでゐたら、検索窓に自動で「禪 レディース」と云ふ文字が現れたので、まさかと思ひつつ此の鍵言葉（キーワード）を選択して検索すると、女性恐るべし。女性用の禪も売つてゐるのであつた。ご興味のある方は、アマゾンで検索してみてください。私は、世も末であると、いよいよあはれを催はすのであります。これが令和の御世なのであろうか？令和時代の京都の舞妓さんはひよつとして「禪 レディース」を身に付けたものであろうか？このまま書き進めると、禪のすすめではなく、禪否定論になりさうなので、これにて御免、擱筆致します。

贗箱男：Grotesque Japanと云ふのも嫌ひではないが……

かくして二十一世紀の禪問答の公案は次の如きものとなる。

問：庭前に問ふ、箱男有金玉。

答：松が枝に掛かる禪揺れるとも げに不動なる風のさやけさ

安部公房の読者が禪を締めて良いのか？三島由紀夫の読者で禪を締めてゐる読者を見たことがないのは何故か？

この一文を三島由紀夫の『文化防衛論』理解の一助として、三島由紀夫の読者に献じたい。禪をはいて後（のち）の我が身をふりかへれば、三島のいふ日本文化の三つの特質、即ち再帰性、全体性、主体性の三つ全てを禪は兼ね備へてゐる。上半身は勝つて兜の緒を締める、下半身は戦さに関わり無く、平生平時禪を締める。三島文学の読者に於かれては、禪を締めて、日本男児に生まれた幸ひを、しみじみと味ははれたい。

目的語と訳し、また同様に客体といふ訳もある。しかし、

(8) これらの概念は皆同じ概念である。これがSです。名前が異なるだけで概念は同じです。同様にこれがOである。

(9) 人間の認識の形式は (S,O) の片葉・片葉の一对からなつてゐる。これはコト・タマであり、事玉であり、言玉である。それを例によつて例の如く、私たちの祖先がお祓ひのために文字をズラして言霊などといふ仰々しい漢字を当てたので玉やタマとの脈絡が忘れられて、何かおどろおどろしいものに誤解をされてしまった。タマは霊ではない。正確にいへば、タマといふやまとことばの意味は、霊といふ漢意ではない。タマは上述の通り、非常に論理的な概念である。

(10) (S,O) が片葉・片葉ならば、いずれか一方を言挙げしたら、他方は文字で表さない。これが私たちの言語を文字表現するに際してのお祓ひの規則です。あるいは、言語を文字にすることよりも、音声で発声する際の規則であるのかも知れない。即ち、私たちの心の働き方の規則です。とするならば、

(11) 日本語に主語を表に文字にも発声にも出さずに、即ちSを表にせず、Oを表に出すといふことは不自然なことではなく、また日本語に主語がないわけではない。隠れたる主語もあるといふ理解は正しいのは、ラテン語であれ古代ギリシャ語であれサンスクリット語であれ、動詞の活用によつて格を示すので、主語といふ主格はあるが、文字には表れない。日本語は、動詞に助辞を付けて同じことをしてゐる。同じ機能を創出してゐる。

(12) ですから、上記の言語モデルは、片葉・片葉の階層モデルなのです。即ち、コトのハによる言語モデルである。従ひ、

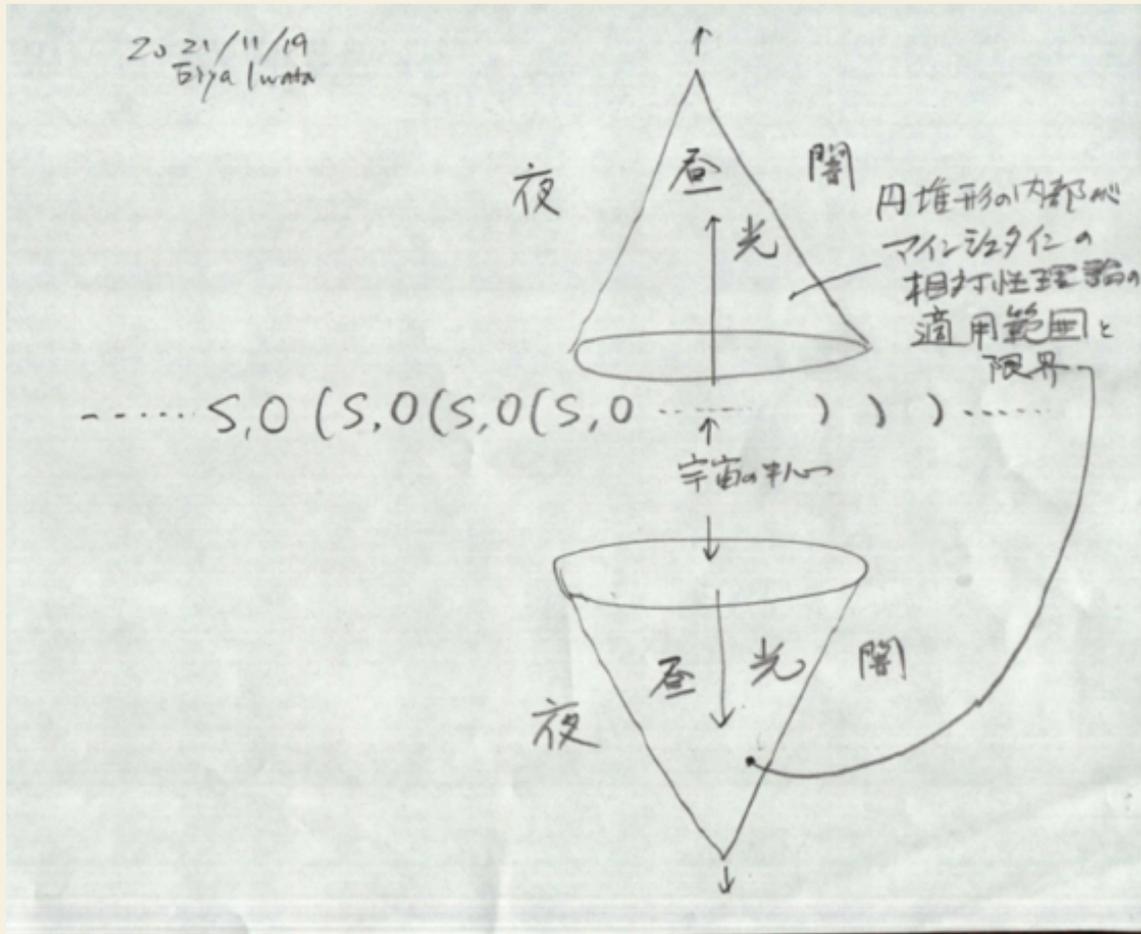
(13) SとOは等価交換可能である。

(14) この言語モデルは、縄文土器のあの渦巻模様と同じです。このモデルの宇宙の中心を上に摘んで引っ張り上げると円錐形（閉じた円錐形）になり、下に引っ張ると、逆の円錐形（開いた円錐形）になる。これはいずれが天地になつてもよいことは、天地初めてひらけし時の場合と同じです。高見ムスビのカミ（垂直方向の接続神）とカミ結びのカミ（水平方向の接続神）は互ひに等価交換可能な存在であることは既述の通りです。従ひ、この円錐形はどちらが上でどちらが下であつても同じことです。また、

(15) この言語モデルの両端の……の点線は端のないことを意味してゐて、伸びるか縮むかのいずれかの端である。即ち、

(16) この宇宙の言語モデルは膨張と収縮を同時に（同時にとは何か？）表してゐる。もつと論理的にいへば、

(17) この言語宇宙モデルは、膨張し且つ収縮し、または収縮し且つ膨張してゐる。



(18) 近代ヨーロッパの進化論といふダーウインの考へた人間論は、EAWAC・キリスト教圏の理屈ですから〔註1〕、時間の順序で前後をつけて、古いほうが劣つてゐて、新しい人間の方が進化してゐるので優れてゐるといふ度し難い考へですから、私たち超越論の民は眉に唾をつけて何事にも海外の文物は、特に欧米EAWAC諸国からの文物はまづ国に入れる前に吟味をしなければなりません。

〔註1〕 欧米・白人種・キリスト教徒を英語にし、これを略称して、必要な場合には、次のやうに呼ぶことにします。

Europa-America=White people=Anglo-saxon=Christian→EAWAC・イーワック

安部公房流の誠に辛辣なる「愛の眼鏡は色ガラス」を通じて此の進化論を見るときとても私たちの理解とは異なるので、人間に関する進化論に対抗する理論

は、私たちの超越論でありますから、それは既にあなたもご存知、要するに人間から3本毛の少ないのが猿であるといふ猿の定義であり、人間の定義であります。勿論、これは数ある人間の定義の中の一つに過ぎません。猿に三本毛を増やせば人間になるのである。果たして上野の猿山の猿に人の毛を三本植毛して立ち所に人間に変身するかといふと、それは解らない。しかし此処に時間は関係してゐないので、理屈としてはお分かり戴けると思ふ。そして、かういふところからも、私たちのユーモアと笑ひは生まれて来るのだといふことも。従ひ、

(19) この言語モデルは、言語の基本に返つて云へば、差異の渦巻であり(渦巻は空気であれ水であれ二つの流れの時間の遅延によつて生まれる。例：鳴門の渦、縄文土器の渦、飛行機の落ちる空気の渦等々)、ムスビといふ唯一の普遍言語規則、即ち唯一の言語原理に基づいたものですから、人間の認識する限りに存在するありとあらゆる差異のモデルなのであり、その差異の隙間は、(と(の間の隙間に、また(S,O)の間のコンマによつて表されてゐる。丸括弧の(は、反対側で閉ぢて一つの()を構成するので、この(から)の間が一つの次元を成してゐる。従ひ、

(20) この言語モデルの渦巻の一つの階層は一つの次元を表してゐるので、丸括弧の数を数へれば、それが其の宇宙の総体としての次元数である。そしてまた即ち、

(21) 同じ差異とは呼んでも、丸括弧の間の差異と、SとOの間にあるコンマの差異とでは、次元の内部の差異と、其の内部に更にある主客の間の差異であるので、差異の意味は異なる。この地球上に生まれたあらゆる民族と言語による差異は例外なく、この二種類の差異に収まる。または収斂される、または還元される、または帰着する。

(22) このことは、同時に、上記(21)の場合と正反対に、次元の外部の差異と、SとOとの間にあるコンマの外部の差異の話でもある。

以上のことを踏まへた上で、次の宇宙原理が生まれた。

第一項：世界は差異である

第二項：価値は等価で遍在する

価値は宇宙に存在するあらゆる差異を埋めるやうに存在し(これは相場地図にて示した通り)、これに対して差異は、上記手書きのモデル図の示す通りに限りなく収縮し且つ膨張し続けて差異を次元の内部と外部に、そして主観と客観の隙間にあるコンマを巡る内部と外部に、時間の中で、生み出す。かくして、

(23) このやうに、宇宙は動的であり且つ相対的である。

(24) 宇宙の中心は、上掲手書きモデルに示した一点にあるが、この一点は、上記(23)で述べたやうに、動的な均衡点であつて動いて止まない。宇宙の中心、この場所こそが、本来のあなたの棲家である。

(25) 18歳の安部公房は論文『問題下降に依る肯定の批判』によつて「一体座標なくして判断はあり得ないものだらうか」といふ問を立て、これにトポロジーといふ数学で答へた。この回答が同時に、安部公房の都市論であることは誠に興味深い〔註1〕。同時期、中埜肇の回想によれば、安部公房はドストエフスキーの『地下生活者の手記』を読み込んで自家葉籠中のものとしてみたことは〔註2〕、終生変はらずに、エドガー・アラン・ポーとともに、さうして後年作家になる途上で出逢つたルイス・キャロルやカフカとともに、安部公房文学の主要な二本の柱を成してゐる。ここまで安部公房全集を読んで来ると、トポロジーとドストエフスキーのこの回答が同時に、安部公房の都市論であることは誠に興味深い〔註3〕。同時期、中埜肇の回想によれば、安部公房はドストエフスキーの『地下生活者の手記』が、安部公房文学の礎石であることがよくわかります。これが柱ではなく、礎石であるといふならば、この土台の上に上記のその他の安部公房の好きな作家たちが柱として立つてゐる。安部公房の十代に読み耽つた哲学者はニーチェであつて、この哲学者もまた「一体座標なくして判断はあり得ないものだらうか」といふ問を立てて、これに答へた人間です。宇宙の中心は動態的な均衡点であつて動いて止まない。宇宙の中心、この場所こそが、本来のあなたの棲家である。とは、さういふ意味です。

〔註1〕

安部公房の都市論については、別途「『都市への回路』を読む」（もぐら通信第147号以降）および『都市を盗る』（連載は「『都市への回路』を読む」のあとにする予定）をお読み下さい。

〔註2〕

成城高校時代の「当時の安部は「解釈学」という言葉をむしろデカルト的な懐疑の方法に近い意味に解していた。そして世に横行しているすべての既成観念やイデオロギーを徹底的に批判し、常識の固い地盤を打ち壊すことを試みていた。（これはある意味で彼の思索を生涯にわたって貫く方法でもある。）ここには彼が既に深く読み込んでいたニーチェとドストエフスキー（とくに『地下生活者の手記』）の強い影響があつた。そして私も彼の驥尾に付して同じことをやってみようとした。私たちは懐疑の批判を怠って出来合いの思想に安住する連中を（大哲学者たちを含めて）ドストエフスキーにならつて「大歓喜」と呼んで罵倒した。）」（宮西忠正著『安部公房・荒野の人』35ページから36ページ）

〔註3〕

18歳の論文『問題下降に依る肯定の批判』に次のやうにトポロジーによつて建設された都市の内部と外部の接続の場所について述べてゐる。安部公房は此のメビウスの環の接続の一捻りの場所を遊歩場と呼びまた交易場と呼んでゐる：

「第一に此の遊歩場はその沿傍に総ての建物を持つていなければならぬ。つまり一定の中とか、長さ等があつてはいけないのだ。それは一つの具体的な形を持つと同時に或る混沌たる抽象概念でなければならぬ。第二に、郊外地区を通らずに直接市外の森や湖に出る事が必要だ。或る場合には、森や湖の畔に住まう人々の休息所となると同時に、或種の交易場ともなるの

だ。」(全集第1巻、12ページから13ページ)

(26) この言語宇宙モデルの意味するところは、人間には宇宙の全体を固定して知ることはできないといふこと、宇宙に関する知識は、それがどのような宇宙であれ、たとへ宇宙天文学の宇宙であれ、言語による宇宙であれ、何であれ、これを考察の対象とした時に固定した知識になつたらそれはもはや真実の宇宙ではないといふことであり、従ひ、動態的な宇宙である以上、上記のやうに宇宙は体系的に構造的にできてゐるとはいへ、また認識できるとはいへ、人間が今を生きるものである以上現在の地点から宇宙全体を知ることはできないといふことである。現在といふ地点とは現在といふ時点であり、この時点は過去と未来の狭間であり移動する隙間であれば、この常に移動する隙間と狭間にあつて、安部公房のいふやうに「時間の空間化」をしない限り、時間の中に入つて来るものは総てが断片化し、トーマス・マンのいふ通りに fragmentarisch・フラグメンターリッシュになるからである。だから、

(27) 私といふ者は宇宙の全体を、カントの用語を使ふならば物自体を直かには直接には、直観の力による以外には、無媒介には、媒体・medium・media 無しには、知ることはできない。かうして、このやうな理由から、

(28) 7歳の時に決心した宇宙がどのような姿をしてゐるのか知りたいものだといふ心中の溜息のやうな憧れ(この憧れをソクラテスは恋と呼んだ)は、私の死後もまた(S,O)といふコト・タマ構造の二種類の隙間の内部と外部にあつて止むことがないのである。何故なら、タマは不死であり不生であるからです。最初から、そもそも、其処に在る。存在してゐる。これが私たちの宇宙観です。天地の初めに時間の存在しない垂直の方向性の開示で古事記の始まる理由です。

長い、長い、長い、旅であつた。



縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く (27)

5.19 クラとは何か

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてみるのが

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところろで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか
- 5.19 クラとは何か
- 5.20 日本は対中外交にどのやうにして均衡による対抗を実現したか：天皇とは何か
- 5.21 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史
- 5.22 日本人はどこから来たか

5.19 クラとは何か (2)

神仏習合に加へて、神道と陰陽五行説の習合を更に加へた「日本列島位相史(v13)」を作成して図を新しくしました。このダウンロードは：<https://docdro.id/0QypjGt>

これで、「日本列島位相史(v13)」は拙い図ながらも完成です。

この神道と陰陽五行習合の論については専ら吉野裕子氏の一連の著作によつてみます。前章とこの章にあつては淤能碁呂島との関係で、特に『隠された神々 古代信仰と陰陽五行』（講談社現代新書）によつてみます。同書によれば、この習合は天武天皇の白鵬期に集中的に行はれたといふことですので、「日本列島位相史(v13)」には白鳳期に合はせて垂直に矢印を立ててあります。同書より当該箇所を引用します。

「正史に記載の暦本の初めての渡来は、欽明天皇十四年の紀元五五三年、降って推古天皇十年の六〇二年には、百済の僧観勒に夜暦本・天文地理・遁甲方術書の移入があつた。

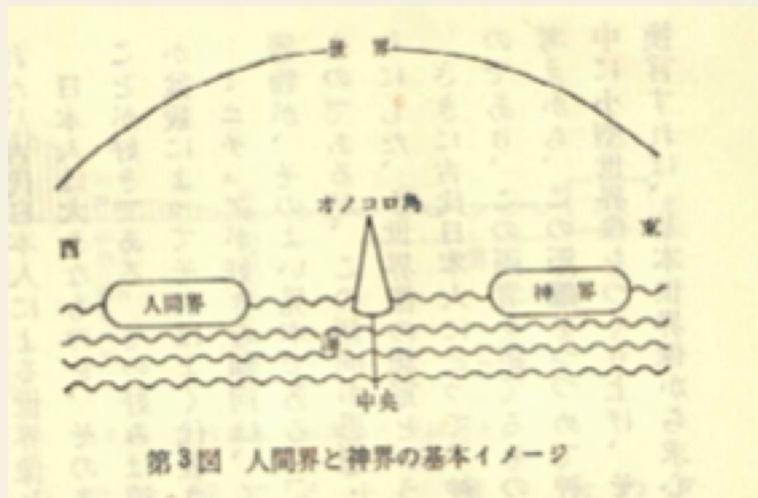
そこで日本に入った陰陽五行説の歩みは、七世紀初頭まではきわめて緩慢であつたが、六四〇年頃、南淵請安、高向玄理らの学僧や留学生の帰朝後は急速に浸透し、ことに六六三年、百済滅亡の結果、多数の百済亡命者を迎えた天智朝に至ってその様相は一変し、さらに次の天武朝に及んで陰陽五行の盛行は、その頂点に達したと思われるのである。」（同書40ページ）

もう一つクラの形象に深く関係して思ふことは、天之鳥船と天之磐船には、クラといふ凹の形象を共有するといふ、つまりは船凹の形象をなしてゐるといふことが共通してゐるといふことです。共通点は、クラの形象である。既述の通り、船の周囲には注連縄を張つてゐるわけですから、地（つち）にあつても天之磐船にはカタ・シロ/片代/形代/片白/型白を抜き出して、磐座の周囲に注連縄を張るといふ論理は共通してゐる。そして帆を立てれば、これを雄船といひ、帆を畳むと此れを雌船と呼んだ。

また、クラの形象を陰陽五行習合の視点から眺めれば、相撲の土俵を開く時に、次の写真のやうな円錐形の、塩ならば盛り塩に当たる立体形を土俵の中央に置いて、その上に棒（この正式名称は何といふものか）を立て幣を飾るといふこの様式は、陰陽五行の習合が天地の軸を水平軸に等価交換して東西軸となしたといふことからいつても、また相撲の方位が呼び出しの声の呼び出すやうに東西であることに鑑みれば、この相撲の土俵は陰陽五行習合による姿だと考へることができます。この土俵中央の円錐形は淤能碁呂島です。



上掲の下の左の写真を見ると、八の字型に手前に八の天頂が来るやうに塩で図形が描かれてゐて、更に土俵の円環の一部に短い俵が置かれて其の上に三つの盛り塩がなされてゐることは、再掲する次の国産みに際しての淤能碁呂島を中央に置いた東西の配置図に通じてゐるものと考へられます。



この図に関して前章では引用しなかつた吉野氏の解説を此処で引用すれば、相撲の土俵は此の理解によつて、私たちの宇宙像として成り立つてゐることが判ります。

「淤能碁呂島と呼ばれる中央に位置する「この島はおそらく女陰を象（肩）どる円錐形で、その形はその後、模倣されて呪物となり、大嘗祭に曳かれる標（ひょう）の山、座敷内に飾られる蓬菜や島台にもなったのではなかろうか。島を中心とする基本的な世界像は、日本人の深層心理の中に今も生きているイメージと考えられる（〔上掲〕第3図）。」

淤能碁呂島が女陰の形象であれば、相撲の土俵開きの土俵の中央の淤能碁呂山に棒が垂直に突き立てられて幣が飾られる意味も自づと知られやうといふものです。

5.21 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史

(続く)

編集後記

- 巻頭詩（32）：孤独より 其の五：安部公房の詩といふ以外にはありません。随分易しい詩だと思ふかもしれませんが、言葉で言つて見ようとすると難しいのは、安部公房の小説と同じです。
- 『都市への回路』論（3）：これで論題の基礎が文字通りにできました。『問題下降に依る肯定の批判』で論じたトポロジーの接続部である公益場や遊歩道の場所が都市を巡つて語られることになるでせう。次回は有名な愛に関する辛辣なエピフラフです。
- 新発見のカフカ描画集の発刊：これはまだ日本では評判になつてゐないのではないかと思ひますが、如何。カフカの読者には朗報です。
- 『文章読本』論（10）：井上ひさし：この作家のやはり風俗や風俗に対する関心とそれらに対する作家としての距離が、この読本を書かせたことが読むと判ります。これはそのまま劇作家井上ひさしの才能なのです。これまでの文章読本とは一味違ふものになつてゐます。次回で其の味をお届けできればと思ひます。
- 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論：まさか、こんなものを私が書かうとは思はなかつた。しかし、ゲーム・チェンジしてもらひたいのは、日本の文学も同じです。編集者と社主が自己変革しなければ、やはりこれは駄目だな。と感じた次第。首に鈴をつけるのは、もちろん安部公房の読者である。

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町
「閉ざされた無限」

- サンチョ・パンサを求めて（19）：禪のすすめ：これぞ、日本男児。何よりキンタマの蒸れないのがいい。実感です。
- Mole Hole Letter（70）：超越論II（第十四回）：最終回となりました。私の人生も書いてみればたつたこれだけ。
- 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（28）：5.19クラとは何か（2）か：私の人生に比べて、クラといふ概念はいと奥深し。あと二回で本当に終わりにします。さやうなら、縄文時代。こんにちには第四間水期。といつても、結局同じ超越論の世界であれば、お釈迦様の手のひらの上。

安部公房の広場

連絡先：eiya.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。